

長谷川仏教文化研究所年報 第40号 抜刷
2016年 3月31日発行

Gopāla 著 Kṛtyakāmadhenu の貝葉写本（下）

古 宇 田 亮 修

〈個人研究〉

Gopāla 著 Kṛtyakāmadhenu の貝葉写本（下）

古宇田 亮修

はじめに

本稿は、昨年の当研究所年報に掲載した前稿 [古宇田 2015] に引き続き、Gopāla 著 Kṛtyakāmadhenu の貝葉写本 (Śrāddha 章) の後半 (26-49 葉) を公開するものである。

1. 写本の外形, 重量

前稿でも一部言及したが、より詳細な情報をここに記すことにする。貝葉写本は、全 50 葉 : 2 葉の空白葉 (= 表葉と裏葉) と 48 葉 (folio no. 2-49) の本文から成り、本文冒頭の 1 葉を欠く。貝葉の材料は、コリハヤシ (英語名 *talipot palm*, 学名 *Corypha umbraculifera*¹) と判断される。

写本の外形 (最大値) は、縦幅 5.1cm², 横幅 60.6cm, 積み上げた高さ約 1.5cm である。

1 葉の厚さは、奥書のある第 49 葉を例にとると、貝葉の任意の 20 ヶ所を計測したところ、0.21~0.32mm (平均 0.259mm) であった。

¹ インド, ネパールでは、コリハヤシとパルミラヤシ (学名 *Borassus flabellifer*) という 2 種の植物から貝葉が作成されたが、当写本の貝葉は、大きさや厚さからして、コリハヤシと判断した。詳細は、[安江明夫 2010, 2011] を参照せよ。

² [古宇田 2015: 229] では、「縦 5.5cm」と報告したが、「5.1cm」に訂正する。[安江明夫 2011: 93] の表 1 によれば、R. Hoernle の調べたネパールの有紀年貝葉写本 45 点の内、35 点が、当写本と同じく縦幅 5.1cm である。このことから、北インドでは、縦幅については、この 5.1cm というサイズが、貝葉を調製する際の標準的規格になっていたことが解る。横幅については、そのような単一規格はなく、多様なサイズが流通していたようである。

(2)

因みに、表葉の厚さは 0.399mm (10 カ所の平均)、裏葉の厚さは 0.380mm (10 カ所の平均) であった³。

また、本文 48 葉の重さは 163g であり、1 葉平均約 3.4g であった。

2. 奥書の再読と写本の年代

奥書の読み・および年代については、前稿において、Romanized Text ならびに試訳を公開したが、堀伸一郎氏（国際仏教学大学院大学附置国際仏教学研究所副所長）⁴を始め、諸先生方⁵より重要なお指摘を種々頂戴し、訂正すべき点および不明点がいくつか判明したので、再掲することとする。むろん、今回も校訂・試訳の文責が筆者にあることはいうまでもない。

〈凡 例〉

1. ○ (写本の) 紐穴
2. 、 (写本の) *virāma* (例: n,)
3. <> (写本にない文字の) 補填
4. = 1 つの *akṣara* を語の区切りで分割する記号 (複合語を除く)
5. (再建において) 写本の読みを変更した箇所は、斜体 (*italic*) で示した。
6. (再建において) 韻文および *Mantra* 部分は、字下げで示した。
7. (再建において) *Sandhi* の訂正や不要な子音の削除については、断らずに行った⁶ (*Diplomatic edition* 併記のため)。
8. (49r.3) は、写本の「49 葉目、表、3 行目」を意味する (r.: *recto*; v.: *verso*)。以下、行の変わり目では、括弧内の数字で示した。

³ このことから、文字が書かれていない表葉と裏葉には、写本を保護するために、やや厚めの貝葉が使われたと推測される。

⁴ 同氏からは昨年来、数次にわたる御教示を頂戴したほか、2016 年 3 月 30 日には、奥書の韻文の *Transliteration, Reconstructed verse, English translation* を頂戴し、脱稿直前に参照することができたことは幸いであった。同氏のご厚情に厚く御礼申し上げる。

⁵ 2016 年 3 月 27 日に開催された第 6 回ヴェーダ文献研究会 (於・東北大学文学部) において、奥書に関するご教示を頂戴した吉水清孝氏 (東北大学大学院教授)、尾園絢一氏 (東北大学助教)、山崎一穂氏 (日本学術振興会特別研究員) に感謝する次第である。

⁶ 但し、本稿では、写本の表記をできるだけ生かしており、*Sandhi* の統一は図っていない。

〈Diplomatic edition〉

(49r.3) ~ iti bhaddaśrībhāṅgādityātmaśrīgopālavi(4)racitāyāṃ kṛtyakāma-
dhenav=ādye dharmapāde tṛtīyaḥ śrāddhāṃśaḥ samāptaḥ // ६३ // om vyāpto
yaṃ yena śailau cchaladamalajalaih sāgarāmbhais=tadāgaiḥ rathāgārair=dvi-
jānāṃ diśi diśi vasudhār=vāmagaurīr=dharitrī pūrṇaṃ ca ○ śrotriyāṅṇāṃ
bhavanam=aviratoddāmavarśair=vasūnāṃ gopālah sarvadānāśrayam=akṛta
kṛtīn=saptamaṃśonsam=eta(5)n // ६३ // ६ // tatra dānavidhiḥ / dāna-
svarūpaṃ pātralakṣaṇaṃ // ६ // saṃvat 1209 āśāḍha vadi 12 śanau śrīmad-
vārāṇasyāṃ śrīmadgovīṃḍacamaṇdradevakalyāṇavijayarājye // ६३ // ३ // om
namo bhagavate vāsudevā ya // ६ // yādṛśaṃ pustakaṃ dṛṣtvā tādṛśaṃ
likhitaṃ mayā / yadi śuddham=aśuddham vā mama doṣo na dīyate // ६३ //
६३ // om //

〈再建テキスト〉

iti bhāṭṭa⁷-śrībhāṅgādityātmaśrīgopālaviracitāyāṃ kṛtyakāmadhenāv⁸ ādye
dharmapāde tṛtīyaḥ śrāddhāṃśaḥ samāptaḥ. ६३

om

vyāpto <'>yaṃ yena śailocchaladamalajalais sāgaras tais⁹ tadāgaiḥ,
rathyāgārair¹⁰ dvijānāṃ diśi-diśi vasudhā vāmagaurī dharitrī,
pūrṇaṃ ca śrotriyāṅṇāṃ bhavanam aviratoddāmavarśair vasūnāṃ,

⁷ パラモンの尊称としての bhāṭṭa° (博士, 学匠) と解し, bhadda Ms. の dda は ṭṭa の誤写とみなした。

⁸ °dhenav Ms.

⁹ sāgarāmbhais Ms. の mbhai は, stai の誤写とみなした。当写本における ma と sa の差異は, 他の Devanāgarī 写本と同じく微細である。また, ta と bha の差異も微細であり, bha は, ta の字形に加えて左上に向かって僅かな「はね」のような部分をもつにすぎない。

¹⁰ rathāgārair Ms. 第1音節が韻律に合わないため, rathyāgārair と再建した。

(4)

gopālaḥ sarvadānāśrayam akṛta kṛtīm¹¹ saptamaṃśotsam¹² etam¹³.¹⁴ 

☞ tatra dānavidhir dānasvarūpaṃ pātralakṣaṇam. ☞

saṃvat 1209 āśāḍha vadi 12 śanau śrīmadvārāṇasyām śrīmadgovinda-
candradevakalyāṇavijayarājye. 

☞ omṃ namo bhagavate vāsudevāya. ☞

yādṛśaṃ pustakaṃ dṛṣṭvā tādṛśaṃ likhitaṃ mayā. yadi śuddham aśuddhaṃ vā
mama doṣo na dīyate.  

omṃ.

(試訳：2016年改版)

「以上で、バッタ・シュリー・バンガーディティヤ¹⁵の息子である^{シュリー} 聖 ゴー
パーラによって作られた『義務の如意牛』^{クリティヤ・カマデーヌ}における、冒頭のダルマ^{バーダ} 卷¹⁶、
第三の祖霊祭の^{アンシヤ} 章 が完結した。

オーン。

この海が岩山から出現する清浄な水たちをもつそれらの泉たちによつて
充満せられ、富をもたらす美しい雌牛¹⁷という大地がバラモン

¹¹ kṛtīm Ms.

¹² saptamaṃśotsam Ms. 意味としては、saptamaṃśotsam という語形が予測されるが、韻律上の理由で、'Inorganic' saṃdhi-consonant or 'Hiatus-bridgers'の-mが使用されていると解した (saptamaṃśotsam). 韻文において、この-mが用いられることについては [BHSG: 35-36] を参照せよ。

¹³ etam は、saptamaṃśotsam / sarvadānāśrayam と文法的に一致する。saptamaṃśotsa- (m. Bahuvrīhi) および sarvadānāśraya-(m.)は、kṛti- (f.) の隠喩であるから、文法的性が一致しなくとも問題はない。

¹⁴ meter: sragdharā (|---|---|---|---|---|---|---|---|) [Apte: Appendix A]. 堀伸一郎氏の御教示による。

¹⁵ *bhāṅgāditya-と再建した固有名詞には疑問の余地もあるが、写本の読みを生かした。

¹⁶ pāda- (四分の1/脚/巻)とあるから、Kṛtyakāmadhenu は、4つの巻(脚)から成ると想定されるが、現時点ではこの箇所以外からの証拠は得られておらず、他の(3つの?)巻の名称も不明である。

¹⁷ gaurā-/gaurī-は、RVにおいては、'Bos gaurus, Indian bison'を意味し [GAV 2012: 79]、一般には Gaur と呼ばれるウシ科の動物とされる。gaurī-の原義ならびにこの韻文の作者が gaurī-の原義をどこまで意識していたかについては不明な点がある (因みに現代インドで

たちの車道¹⁸や住居たちによってあらゆる方向に[充滿せられ], また, 聖典に通曉した者たちの御殿が富たちから成る止むことのない猛烈な雨たちによって満たされるために, ゴーパーラは, この7つの章^{アンシヤ}という湧き水をもつ¹⁹, 全ての施与の拠り所である著作を作った.

その中に²⁰, 施与の儀軌, 施与の自性, 施与に値する人の特相が[述べられている].

1209 年, アーシャーダ月, 黒分, 12 日目, 土曜. 聖なるヴァーラーナシーの聖なるゴーヴィンダ・チャンドラ^{デーヴァ}王の素晴らしい王国にて. オーン. 南無世尊ヴァースデーヴァ.

私は, [元] 本を見たままに書写した. たとえ[この本が] 正しかろうとも, あるいは誤っていようと, 私に過失は帰せられない. オーン.]

このうち, 書写完成日とされる「1209 年, アーシャーダ月, 黒分, 12 日目, 土曜」とは, Vikrama 紀元にて記載されていると考えられるが, 西暦に換算するといつになるであろうか. [古宇田 2015: 228] では, 矢野道雄・伏見誠両氏の作成された Pancanga (version 3.14)を用いて「紀元後 1152 年 7 月 1 日, 火曜」と推測した. しかし, その後, 堀伸一郎氏より Pancanga を用いて換算する場合, 写本に記載される日付がいかなる暦法に基づいて記載されているかを考慮する必要があり, 結論としては写本奥書の日付は「紀元後 1153 年 6 月 20 日, 土曜」

は, 肩にこぶのあるゼブー (Zebu) と呼ばれるウシが一般的である. 古代のコブウシについては [GAV 2012: 69-72] に詳しいが, ここでは, vāmagaurī-という表現で, Kāmadhenu を指しているとみなした. この文章により, Kāmadhenu のいるところは, ārya / brāhmaṇa 文化/文明が栄えるということを示唆しているものと考えられる. また, MBh において, Kāmadhenu がたいへん美しく完璧な雌牛として描写されることについては, MBh 1, 93 ([上村勝彦 MBh 1: 349]) を参照せよ.

¹⁸ 車 (ratha-, eng. Chariot) が通るために整備された車道/街道 (rathyā-) に言及されているのは, おそらく ratha-や rathyā-が ārya / brāhmaṇa 文明の象徴の一つとみなされていたことに由来すると推測される.

¹⁹ この試訳が正しければ, 本書は全 7 章から成ることになるが, ādye dharmapāde との関係は不詳.

²⁰ 「その[著作]の中に」という意味と推測される.

(6)

に該当するとのこと教示を頂戴した。Pancanga を利用する際には、①満年 (Gata/Afīta) / 数え年 (Vartamāna), ②Caitra 月始まり (Caitrādi) / Kārttika 月始まり (Kārttikādi), ③新月終わり (Amānta) / 満月終わり (Pūrṇimānta) という暦法の3つの前提を考慮する必要があり、当写本の場合は「満年・Kārttika 月始まり・満月終わり」の暦法で、かつ Vārāṇasī の経度・緯度で換算すると、上記の日付に相当するとのことである²¹。

3. 写本の複製について

写本の複製については、前稿と同じく、写本をスキャナーでデジタル化し、コントラスト・明るさ調整をおこなったうえで、印刷したものである。但し、前稿に掲載した 2r. left 部分は黒ずんでいるため、原本自体を肉眼で見ても判読が難しかった。そこで今回、赤外線撮影を実施することで、多少なりとも文字の視認性向上に寄与できることが判明したため、末尾に再掲した次第である。また、37v. と 38r. についても、墨がかすれているため、スキャン画像にくわえて赤外線写真を掲載した。

〈略号ならびに主要参考文献〉

- [Aiyangar 1950] Aiyangar, K. V. Rangaswami (ed.): *Kṛtyakalpataru of Bhaṭṭa Lakṣmīdhara, Vol. IV: Śrāddha-kāṇḍa*, Baroda.
- [Apte] Vaman Shivaram Apte: *The Practical Sanskrit-English Dictionary*, Poona, 1978 (repr. Kyoto, 2003).
- [Brick 2015] Brick, David: *Brahmanical Theories of the Gift. A Critical Edition and Annotated Translation of the Dānakāṇḍa of Kṛtyakalpataru*, (Harvard Oriental Series 77), Cambridge.

²¹ [矢野道雄 1991: 13] には、「歴史資料にインド暦による年月日が与えられていてもそれを一義的に西暦と対応させるわけにいかない」と述べたが、曜日を与えられていれば、大きな決め手になる。もし曜日が一致すれば、西暦との対応はほぼまちがいないといえるだろう。」との記述がある。

- [GAV 2012] 大島智靖・西村直子・後藤敏文『GAV：古インド・アーリヤ語文献における牛』総合地球環境学研究所 インダス・プロジェクト。
- [Kane HDh.] P. V. Kane: *History of Dharmaśāstra (Ancient and Medieval Religious and Civil Law in India)*, 5 vols in 8 parts, Poona, 1930-1962. (2nd ed. 1968)
- [井狩弥介・渡瀬信之 2002] 井狩弥介・渡瀬信之の訳注『ヤージュニャヴァルキヤ法典』（東洋文庫）平凡社。
- [上村勝彦 MBh] 『原典訳 マハーバーラタ』1～8, 2002～'05, 筑摩書房。
- [古宇田 2015] 「Gopāla 著 Kṛtyakāmadhenu の貝葉写本（上）」『淑徳大学長谷川仏教文化研究所年報』第 39 号, pp. 230-170（横組）。
- [安江明夫 2010] 「ヤシの葉写本研究ノート」『研究年報／学習院大学文学部』第 57 号, pp. 105-140。
- [安江明夫 2011] 「ヤシの葉から紙へ：ネパール写本研究ノート」『研究年報／学習院大学文学部』第 58 号, pp. 87-117。
- [矢野道雄 1991] 「インドの暦日について」『西南アジア研究』第 35 号, pp. 1-21。
- [渡瀬信之 2013] 渡瀬信之の訳注『マヌ法典』（東洋文庫）平凡社。

（当研究所専任研究員）

[古宇田 2015] に対する正誤表

[p. 229, 5 行目]

「縦 5.5cm, 横 61cm」 → 「縦幅 5.1cm, 横幅 60.6cm」

[p. 220, 下から 9 行目]

「Devī-purāṇa 7v.4」を削除。

(8)

FACSIMILES
(folio 26-49)

(10)

Folio 26 verso

left

मल्लप्रवाहर्षिप्रसन्नताप्रियेष्टानर्घिष्टान्तोद्ययदंशंकयवाहनं शिष्टकृताननयामहलामा
 वाहनायस्त्रिष्टकतस्रसनमःश्वाहेतिसञ्चलणान्नमनिवाद्यान्नस्यतापवतिश्राङ्ग-
 २६ स्थाप्रमादृष्टिबीतपात्रोद्योपयिकनृवाह्यलस्यस्रत्वश्रुतंहाहामिवाह्यलानोत्वावि
 प्रमादयष्टिबीतपात्रोद्योपयिकनृवाह्यलस्यस्रत्वश्रुतंहाहामिवाह्यलानोत्वावि
 स्थाप्रमादयष्टिबीतसुधिबोक्तपितामहस्यःसुदानमःहतीत्यमत्रदशतिसुसम

middle

इयात्मानं तनशीलाति॥त्वोमयनः॥अग्निमुपसमाकयसंपविस्त्रीर्यतियत्रस्राङ्गनीकहाती।
 याश्वयैमोपिंशरद्याहयमोहिप्रितरःप्रतिमयाचरतीनिविजयतेअस्रत्स्रुल्ललाप्यानि
 द्यावतोप्राणायानत्याङ्गहामिअकितमसिमापिहलोकिध्याअशुत्राशुधिबोक्तंनित्यस्र
 द्यावतोप्राणायानत्याङ्गहाम्यकितमसिमापितामहानोकिध्याअशुत्राशुधिबोक्तपिताम
 नृस्यतआदित्याशुत्रत्याताममानितमहिमादत्रस्याप्रमादयष्टिबीतपात्रोद्योपयिक

right

सोमायपिहमतस्रसनमःश्वाहाद्यमाद्योगिरस्रत्वपिहमतस्रसनमःश्वाहाअत्रत्यकथ
 त्वद्यवाह्यलस्यस्रस्रनानस्रनात्रदिहाति।ष्टिबीसमत्रस्रत्स्रप्रपदृष्टप्रवमहिमादत्र॥
 सनमःद्वितीयमत्रदशतिस्रविहसिमंतस्यलकोयुरपद्यालायहंपितमहिमादत्रस्या
 हिन्यःसुदानमःहतीत्यमत्रदशतिस्रमत्रस्रत्वआदित्याशुत्रत्याताममानितमहिमादत्र
 नृवाह्यलस्यस्रत्वश्रुतंहाहामिवाह्यलानोत्वाविद्यावतोप्राणायानत्याङ्गहाम्यकित

Folio 27 recto

left

मसिमाप्र पितामहानौकत्राप्रत्राशुधिलो कप्रतितामहस्यःस्रमनमदतिअघान्यदा
 द्वाहतिप्रर्वत्रहविङ्गत्वायघाविषाउक्तामोकरवाणीनियतावाह्यतःसुविप्रत्रत्या
 मत्रविशस्रवित्यवहविःशसमाददीतममीशच।पितृनावाहयिद्यामीत्युक्ताउवाङ्गलि
 त्यतिप्रष्टउहविङ्गत्वाय॥वत्सप्रवाण॥ततापृताकाममत्रुसाह्यमात्रयमा।विद्याता
 चनिघाद्यः।पितृकर्मलोच्यवाक्ताः।ममित्तरुत्वाहकिणाशोसमेविका।महतीनपृता

middle

हरोति।श्रीशोकरणसाखरायद्वत्रमनिपार्थिततस्मिंश्चाशितरद्याद्यदयप्रकतिनवर।य
 विवासाभाययमायङ्गयत्रतः।अत्रायदयवासायसुवतिङ्गयाद्विः।नामायपितृमत्यः
 :सुविः।यमासकादतिप्रुनस्मयमावाहय।पितृवृत्ततसैसीधरसीणी।प्रसवंरकिणाशुदः॥
 नमिकविष्यदतिप्रयतः।प्राधीयदिकारुउंउं।प्रतिउकोदकिणाशिसमाह्यशरकिण
 क्तिनङ्गयादङ्गतिवर्ष॥तथा॥हृहाकायवरायुक्ताहीनमंत्रङ्गहावियः।अवहहमहमना

right

मः॥ततः।मलिलमासचरुह्रीरस्यविकर्क।अधिकार्थततः।ऊयीदउज्ञतज्ञतेदिके।महा
 माया।गिवासतथा॥सा।मसापयनेरुत्वाथक्त्विवसुतस्यवा।उनसुज्ञितेनः।मयादिविना।तत
 आपसेवः॥उदयता।मयाचक्रियता।मिद्यामत्रुयरीका।मशुदयता।काममात्राचक्रियता।मि
 याशुउदिके।नीला।वीवायतः।दद्या।ममिधसिस्रस्रिस्रसादशमातृकाः।पनासम्समिदर्व
 सावध्यादथेङ्गमनि।सुल्यरुक्कसम्युलितावाभावनेमयानको।आइका।श्रिस्रस्ररुक्का

Folio 28 recto

left

अथ सद्य नावाका खीर किला नि सुख नवा मयुः॥ नपे ह्य क्रिया हा हा लो कि कयो
 व्यायनः॥ विप्र घः पक्ति मृथ तम पा ले विन मि कः कु त्वा मंत्र वर (य चार ही पा ल वृ नि
 ल्या वा शो धा यथ अथ प वि वष ना दि वि विः॥ मयुः॥ पा लि च्छा र प म य स्य च य म न स्य व र्थ तं
 मू या ल व स मा हि तः॥ त र्थ ला ख व वि वि र्थ म ला नि च फ ला नि वा ह द्या नि वि व मी मा नि पा ला
 क्रि निः॥ य दि छं डी वि त श्वा सी त र द्या त्रे स्य य न तः॥ न त प्रा ड स र्च मा र्ग ता ता या ति न सं रा घः॥ अ

middle

विधी य ता न र दी न वि ना आ ह मा हि ता ये हि डा ल नः॥ म स्य पु रा णे॥ अग्ना ना वि वि वि प्र म्य
 क्रि प रः॥ य मः॥ अग्ना क र ला हा ध न् वि वि वि प्र ति पा र ये श प्र ति पा र्थे ये द णे उ न र द्या हि श्वा
 विद्या नि क पि व द्या य स न के र्प नि क्रि ये श सु क्तं अग्ना र्था ह मा र्था य र न मु प नी य ता त द्वि
 नि सु व र्ती लि वा उ प नी यं उ त सर्व म न कि म्प म मा हि तः॥ प रि व द्या ल्य त प्र य ता गु णा अ वी य र्थ
 प म्पुः॥ वि रु ष ह व द व र द्या अ र्थ मी म मि ति अ म्प मः क ल्यः॥ अग्ना वि त ल शा क मि ति म पा उ

right

पा लो वा घ रु ल पि वाः अग्ना का र्थे क र्ण वा गा ष्टे वा घ शि वा नि के च्छं हा ग प वि शि घृं का
 दि के॥ हा री तः॥ इ त्वा खी पा व र्पु नि क्रि ये श य मः॥ अग्ना क र ला द्वि प्र वा हा ण च्छं हा य वि रः
 पु ले प न्पु रा म्प ह मा इ ष त्त मः॥ अ णे च्छं प्र प था का श्या य ल्या र वि पु न म्पु वि श्र ल प्र य न म्प म
 र य र श्वा इ त्वा त त वि ये स्य म न र द्या र म्प मः॥ व द्या द्या थ क था क र्थो वि द्वा णा म्प त र्वा मि त्वा का र्थ
 वा पि क आ ह क ल्य सा र्थे वा ल णा द्वा इ व र मा सि क प्रा ह ति ला नो र्वा णा वा ना पा स्य न म्प र्थ

left

२८
 प्रनापायनव्याख्यामत्रः॥नाश्रमात्यातव्यानुनकायानां तवत्तवशनपादनस्ये
 त्रगात्रावानति (स्येत्सु श्रिनि।नवात्रस्यनकाकादीश्रकिलाश्रुतिवधत्तर।तद्रूपा
 तवुजानानवकुर्वीतमसः॥विष्णुः॥तिरुसानिवपात्राणितद्यादिहाषतावाकृतानिह
 वाषष्टानि॥हारीतः॥काव ननउपात्रलराकताइष्टावलवादर्नमक्यतांयांतिख
 नाहदाम्यहैवउःआतस्यमापत्रहासनामार्जियद्युतंउनाववउवर्षताज्ञानाक्रान

middle

इनेनविनमवक्षनयराविष्णुः॥नाउमाभनमा (वापयउपवास्येनाचक्रुतंक्रम्यात्तवल॥
 ःपितरःसत्रसमायातीतिवेदिके।नकोधंरुस्यविष्णुकीकस्मिद्यदपिकारण।अकुहंपविषेदि
 ह्यातातेपः॥पात्रिउश्रुमयिष्यष्टादिनाउयातपितृनात्रमेतासुवावशलाकाचनरक
 इनाथेकतनवा।इदयातातपः॥आस।ननउपात्रलयइत्रंमंशरीयता।नाकाविधमचैकवा
 मशयः॥श्रुतंनत्विष्टुतिश्रुत्याइयात्या।िनाश्रुतांज्ञातवत्पेनवात्रातिनाकापापतरंवाड

right

मश्रुनापातव्याद्विनकल्पत्रहासनिधःनविजमत्रकाद्यानादिद्रुष्टावकहंविश्राश्रिताधि
 आदिशीलयतपितृरा।वह्याउधराणा।नाश्रमापातव्यानुनकागिरमीवयशनलादीकि।
 उदरे॥अथरुद्रियाउष्ट्रिना॥परीनमिः॥लोहानोमीसकानोश्रयवाहीनयात्राणिकञ्जुपावाणि
 यताचनरकंइद्रुश्रायमः॥यावद्विष्टितवनिद्यावाश्रुष्टप्रदाय (यरातावदुमंतिप्रितनायाव
 राहासनउचृतसोइयदप्रकिमानियतोतरपिसाइंयातलमत्रे।सोइंश्रुदिःपविषिषनवति

Folio 29 recto

left

सोऽं माहिकं कालितं शाकं गोवर्षलवर्षं च तं हस्तदत्रानि च क्त्वा वदत्वा सात्तपन्वत्तरा
 हारीतः ॥ पन्था वि त्वा प वि छद्यः समययदिना रुनात्तपन्था विषमं दद्यात्तया तत्र च दापये
 राकृसातो वसथीयका मिद्यत्त ह विद्यति तस्माद्वा दधुमसिषु यद्युद्य हलस्मत्तौ निवृद्धं
 ॥ सोऽप्यायनं यद्वा ॥ अत्रेवासा वत्रत इत्युद्दिश्य नाहु व्यशा वस्युत्तराले ॥ त ना मधु च ता कृत्तु
 मिह रक्त मदीय मितिकी र्त्र व्यशा च ना च्च निवम वलण पिद यद्वा तिवद व्यटप किकसा विष

middle

विष्णुः ॥ न प्रत्यकं जवर्णं दद्याद्दाम्नवचृतं यं रुणा नि ॥ वायुपुराले ॥ लिध्वं लवर्णं विवतयाम
 रीत्यावकासा पायदाताम विनिचयगामिनः ॥ यारु वक्ष्यः ॥ दत्वा त्रं चृ धि वी पा त्रं मि ति पा ना नि म
 उधया देव हि र्नी च व य ह तौ व हि र्नी च व य रु क्तं म की म वा यु वे न त र ॥ विष्णुः ॥ ना मा विष्णु ल्या दे व म्
 मा ध म न्नं तिला धि र्तां चृ ही त्वा दे व ती धे न प्र ल व ने व त सु नः ॥ विष्णु म्ना दे व म् ॥ ऊ र्थी च य ति
 स्य गृ ही त्वा रु ष्मा र रा श अ सु का अ सु क गा त्र ल उ स म न्नं स म न मः ॥ तिल म न्नं च व या नी यं म र्क

right

नमनाप वित्रं पुरं सं ह्यते विनित्यशाः ॥ वस्युत्तराले ॥ द विष्णु प ह ता दी ना न क्त्वा था प वि लु ष काः ॥
 म्पिते ॥ क्त्वा रं विष्णु वित्वा त्र हि र्नी गु धे नि वेश ये र ॥ अ मः ॥ अ उ ध मा वा न म वा वि ष्णुः प य र त म ही
 इ य न्न मा दी प्रा अ स्य या त्रि वि द य ति व पि ता म हा य प्र पि ता म हा य च ना म मो ज्ञा म्प्रा यु द्म स्य
 पा द नं ॥ द्वि जा गु धं गृ ही त्वा च प ष म् चै त वा ग्य तः ॥ शृ धि वी त पा च मि त्य व मृ ते वि ष्णु य त्प र्कं ह र्ण्य
 शं त ष्वा य तः ॥ वि कि व वि ष्णु दे व ल्या रु प न्न प ह ता मि ति ॥ त त्वा द द्या द सो या नः ॥ न व न्न व्या हा य

left

२६
 त्विति॥ आह वक्ष्ये॥ मद्याहलिकां गायत्रीं मधुवाता इति सुवरज्ज्वायवा सुखं वाच्यं तुंजीव
 म्भूतो इति रुषमिद्धातो वाच्यं तत्र निष्पृग्वाहवयुष्मप विष्णोः॥ यत्र पाणि तत्सुत्रं यथा
 ॥ इव ल॥ अत्र पानकधीतारमियोस्यवलोक्तिवक्तव्यकारणमसंख्यं तुंजीव पाणिना
 यत्र फलमूलपानकस्य॥ अमः॥ आदि निष्पृक्तो तुंजीवान् यत्र लवणादिषु उच्चिष्टाः पिन
 विहमसंक्रोधविनयाद्विनः॥ आह काले उयह कानतप्रीणाति विदिहृत्वा॥ इह मनात्तय

middle

॥ विवाग्गता॥ लघुयमः॥ अत्र मधुमयं कृत्वा मधुवातनिर्मितिं अत्र हीमं क्रियाहीनं मंत्रहीनं च
 अशुभकल्पितं एकीनात्वेन जातं यथा वृषशाखानं विद्यात्॥ मउः॥ न च द्विजातयेत्तुमात्राष्टका
 ॥ इति स्वलिखितो वाङ्मणत्रेण लोपिना निवृत्तयुतात्तं यत्र अथाद्येन प्रहामं यत्र पाणिना
 राया निष्पृक्तानां मणयः॥ यत्र पाणिना लोपिना कथं मवात्तुममशुना॥ वाच्युत्तराणि॥ यावत्तय
 ॥ आसन्नयो रमात्वाथ यर्हं कानदिशत्रमः॥ हेति देववपि यवत रश्च यत्राप्रशर॥ इव लः॥ वा

right

॥ इति मर्ममं विदमिद्युक्तात्तायत्ननात्तयत्र॥ विष्णुत्तराणि॥ नातां चैष्टमव्यर्थं मतीष्टमति सं
 हविर्हृत्वा॥ यावदस्यानेव त्याग्ययावदश्रुतिवाग्गताः तावदुष्टति (पतलाया वात्राकाह विष्णुणाः॥
 अत्र तमिति वृत्तं यवहमसंक्रुयाः॥ यावद्दामोयावत्सद्यश्चावृत्त्याप्रतावदश्रुतिवितलात्
 दिशा तां च द्यात्पणाज्ञानवर्जितं॥ पितरमस्य उष्टानि वात्तलीकं न संशयः॥ हावीतः॥ उह्यदालि
 प्रममनात् कृत्वा पाताकापि वा पुनः॥ अलाशीलोक्तावा मविषः॥ देह रक्षकः॥ इह मत्र पिया

Folio 30 recto

left

पुंकेभनायाययतपिहृरायावहितमिलावंक्त्यावावंक्तविगहयरा॥वशिष्टः॥उतायाः॥
 तिलातिवाविनारुच्चलाभियदृष्टतद्विरुक्तिसिगुत्तितानिलाहावलयदृक्तं पविर्विष्टमम
 स्पृष्टतिप्रदिवा॥वशिष्टः॥नियुक्तमयदिआहृदिदिवासासुच्युक्तंरायावनिप्रथाम
 दृक्तंनियुक्तंरायावनिप्रथामदृक्तंनियुक्तंरायावनिप्रथामदृक्तंनियुक्तंरायावनिप्रथाम
 दृक्तंनियुक्तंरायावनिप्रथामदृक्तंनियुक्तंरायावनिप्रथामदृक्तंनियुक्तंरायावनिप्रथाम

middle

शाखायावर्कपित्तोन्नित्तिदित्तदन्नंश्रुतीश्चान्नस्यसुखादृष्टवतसः॥तस्यादृश्यहसन्नज
 युनाइरात्मनायदृक्तंनदिरुक्तिसिगुत्तितानिलाहावलयदृक्तं पविर्विष्टमम
 मित्तावन्नकष्टंनि॥वराहपराणा॥उद्वेद्यदिवात्रेउवास्याणासनवर्जितः॥हरतिराइमा
 मसुतेवेक्तनिराशाःपित्तवागताः॥आपमेषः॥ववात्रहृणवाहृष्टेष्टः॥मउः॥आइरुक्त
 नदयश्चद्विष्टमनाद्येआहृक्तमिणा॥अथत्रद्विमर्षिन्याधिद्यायवसुतायवा॥मउः॥हर्षय

right

यीइउसुपागतांनारुनंवासमालसुतिष्ठताहृषलादिरुः॥यमः॥यसुर्वृकाउनःवीक्तयय
 तंरुत्तद्विरुक्तिसिगुत्तितानियुक्तंविषयश्चाहृद्यक्तिवित्तविवर्द्धयरावित्तसम्यतमासतिवा
 मस्यनुत्तलमसुद्वि॥हातातपः॥हातातपः॥अईवंक्तुयोविषममिंपावर्तलेवित्वाय
 यगद्विष्टेष्टलाधययष्टुति॥समूहानयकयातिकालसुवमिवाहृराः॥वत्यासुपराणा॥मि
 द्वाहृषलासुष्टिानांरुत्तय्यासनशानिः॥अनाद्येनासक्त्यानामला
 नौधयं वारूणांनिकुं

left

३. सुकषीपला इनाथ सुप्रसिद्धं तं ब्राह्मणं न्यबुद्धं नशक्तिः प्रतिप्रहयरा। यमः॥ निरुकाव
 काद्याय नः॥ अथुच्छ्रुपेया हतिप्रवागायत्री सप्रणवांसकृ त्रिवा। राहाप्रीः। विश्वमत्राशु
 मधवा तांताथत इति तिष्ठः पुनत्रमा पितर इत्युवाद्यानि सामप्रवक्त इति विद्यामि
 लाश्रितिलानिच॥ मरुपुत्राणा॥ वसविष्कं उडाणां प्राणाणिविद्युनिच। इहामाम
 ॥ ब्रह्मपुराण॥ श्रीला वैश्वनिंवा प्रविषेत्तः संनिवरयरा॥ विष्णुपुराण॥ प्रकाप्रमत्रपठ

middle

हावारीवा। तारुनाथस्य पश्चिंतं उपविष्टुनप्राप्तः कामंतमपितो जयरा॥ सुगलयः॥ प्रहये
 पंचकामयानिवप विद्यालि॥ लोकायनः॥ रक्ता प्रा निचमा मानिषसव त्रियहं धिवा मष्टला
 यामि हियपता रूप निहृत्सीलाति। शंख लिखितो। पविर्जां कलिपाल इनिष्ठासी। तामधवात
 संकानिपावमानीष इक्तिः इह इध्रततह। अथ सामग। वासवरा। तस्यवधा। तिकाद्यायनत्रा
 नं त्रलवांसरुलिलिः कृताद्ययाश्च विस्वसपवहृत्समत्रमा। मातापिता महश्चिवतधिवप्रदि

right

शुद्धकाले पियतिं सवस्यवपिलं विद्या उहवातपापयिष्ठमात्मगणाश्रिताशुवज्ज्
 पवविद्यालिश्रावत्येकसयस निः। हारीतः॥ यद्यत्प्रतमायतषमत्रमापितर इति युक्तमानि
 इति ज्ञापरा। मनुः॥ अथायश्रावत्ये। वाधमंथा। लाविवहि। आख्याना। निहासाशुपुरा
 लणपवरा। मंडलना। तहृत्सी। तिकानिवयत्पुनः। विद्यालासात्मान। चिवतसर्वसुदीर। यरा
 तामहप्रहप्रैववो। उपात्पुनमयादत्तननूलला। यितापिता महश्चिवतधिवप्रदि। तामहा। गदेधिव

Folio 31 recto

left

धातं महश्चायन्नयेत इह हती माता महसू प्रियुषियुषिये त्रितस्मत्तु धादि नानस्य यिता उव्याशुः
 वृष्टामि सर्वका मयदं सुत्रं प्रस्त्रीनासंस्त्रीनासंस्त्रीनापिल्लोरी प्रतनुसानमस्यामिस
 लिः प्रजापतः कथयामासा मायवृणाया (त्यागश्चरम्यधतद्या नमया मिहतां कलिः वि
 स्रुत्सर्वमनुया द्वायम (तिलंद क्लिणा सुखः उद्धिष्टमनिमि वि द्वा द्वा हि पिल्लयह वरम
 मामि वज्ञतां कलं रथीयता मि ति का हि वं विष्णु देवा ऊल दद र वि द्वा देवा म्प्रीय ता वि

middle

विष्णु ज्ञादवा पर मोषया त्त् प्रियुषण स च च्या उवनाः यज्ञे धारा ह्यम म प्रक त्रा ना काय या म्
 द्वा तेषा धा नि नो त्याग व कुषो । इंडारी नो ऊ न ता रा द क्क मा री च वा स धा । म प्र की ला पिल्लो व
 ल्गणे म् स प्र ह्या न लो लो क व स प्र सु । सु य म् प्र न म श्च व वृ ह्ना लो त्या ग व ह्ना षा प त ड क्क म
 ता महाना मा ए व द्वा दा च मन त्त तः श्चि वा द्य त तः ऊ र्ध्व द क्क ष्या द क्क म व वा द्वा उ र कि
 षि द्वा क्क इ इ क्क प र । दा ता वा ना नि व र्ध त्तो ल दा स त्ति त व च । अ द्वा च ना मा ध ग म र व र्

right

ह वि नी ष्च रा य उ स त्ति क ना द य या च म घो व क्क स्या ष वा ल्य सु रा ष स र्ब (वा सु प्र रा लो । म श्च र्चि ध प्र
 ता त्त म स्या मि का म दा म श्च री नो ऊ न लुं च स र्ब दे व न म श्च तं प्र न य स्य म दा त्त न प ह्य हा क्तो ऊ
 म्ना पूर्व ड्क प न्ना । अ न मा दा य त्त् प्रा सु षो र्ध त्त् वा सु मा य वा न द त्त प्र कि र्त्त मा द द्या धा पः म क्क
 ला श्च का ष व का व सु रा ह र वा वा द्य ता मि त्या सु द्वा तः प्र क्त त्त न्यः श्च वा द्य ता । सु सु व म् सु सु क्क र्
 द य व ना श्च ति । इ स क्क व षि द्वा वा च य लो य लं वि स र्क य रा वा ऊ वा ऊ इ ते प्री ल (पिल्ले र्ब

(22)

Folio 32 verso

left

बुनसो विकरत्रिपत्यरावत्याचावसुसुलतिलाञ्जालपाणिषनिन (पुवां) चवत्याय
 तेषापत्रीहद्यास्येयसुयंत्रिता। उदकाङ्गलिप्रदीपेवश्रुनाम्यङ्गानतथा। सात्प्रायनय।
 ३२ रनिवक्रिततिद्वितीयपितामहायाद्यो ई विवक्रिति नितनीयेप्रपितामहायायवपि
 उलपनात्रायनसुनोद्याननितदत्यरा उदकाङ्गमधुतिलास्यास्युतं वचुकव
 धाममामरनिप्रहक्रिल्लबाप्रत्यायवयथाकिरक्रिणोरत्वा निरममूनवत्रह।

middle

विषयनमनिद्वयजउदकाङ्गलिप्रदीपावतनऊतमर्ष्यप्रत्यवानऊतं मारुतप्रवीहनविक्रि
 ह्या। उकवञ्चिदिह्याइद्यासुवञ्चादित्याका। पंशम्यथिमतस्यत्रानां किंविदनुभया। विह्य
 तावाप्रताइतिवासादस्यावीरात्रपितावादनुइत्यत्रर अत्रपिततामादयधमितिइतंमूलि
 सुव्राह्मणेपुलधिमागतषामामकक्षा इत्यत्रसलेलमसुकात्रविकरणमुच्चिद्यतं क
 ल्पुक्कातिउक्तिनिवतामइतिइवाश्मइतिवद्यश्चपितरश्चत्यमिऊपदकायादकंचा

right

प्रादकंसमूलतिलिर्षद्याश्रुतीतइशमामतइशोचकंश्चाइमृद्विकामः ऊयीव्रतघाश्रुदीना
 उ। सुप्रममिदिइक्रिणाप्रप्रदनिषुप्रथिवीदविचक्रिता। मि त्यकं विंतीपित्यनिइथा रमत्रिइ
 वृकरावपवधेलेरउईवहंतीरितेउंनसो रकनायुदकिणप्येना विकरंइत्वा अघेपुष्यश्या
 त्वालेमालवन्नः सयत्रममितिइद्योइश्रुत्वद्याचमनपादिइत्वातत्रात्रात्वमदस्यत्वायना
 नामागाश्याइत्वाविश्वाइवाः प्रीयेताव मिलप्रोश्रुत्वम्यमतः प्रीजलिनइन्नर्माः शुमना

left

३३
 विंशत्युत्तमात्तान्नाज्जननेवेअन्मद्यमधुसार्पित्यांतावपज्जुशर्मवत्त्याछायाद्योहसिना
 वाचपराशामाअमितिद्याषाणोचउर्ध्वविंडमावपरापवंनिवश्यपिंडात्तत्रचक्षुर्धुश्च
 रुःतताइतवलिन्मथपितृस्योमत्रपूर्वकापिंडमात्रणतलेवइद्यासचमनासकोहवि
 श्वप्रतापिंडप्रसापयराभकाणप्रपानिहूधयंरुनाद्यासनानिवाततथपिंडापात्रणत
 तितरेकस्यासिंशुधिकात्रप्रद्यतापवंपेइसमस्यईरुतात्रिचययाविसि।अल्पतयात्स।

middle

ऊद्यवद्भुदोहिसत्रनिम्नापितप्रर्वचनामानिप्रयाणांकीर्तियच्चनेः।अपस्यमपाद्भुंमंत्र
 ईवशुअलकथयथाकल्पेइह्यात्पावेकधनःहविर्नःकथमत्रणसुकाववापाधराज्जि
 श्रपेतताश्चिमादायेकिकमादितः।क्रमशःइत्यपत्रीनापेइनिवपणेचतत्रततःपिंडास
 नाइत्यतिलोरकापेइंसात्रिकप्रइश्चमपस्यतःतानिवाद्यपयातावरयात्ततत्रि
 णाद्युनेत्रात्सणोश्चमर्षत्वराअथपेइअशिशानंविशिमानोइत्यदिशरा॥मउ॥साव्वलिक

right

पूर्वश्चत्वतिवापतत्रतानयवत्त्वामविद्यावापयस्थितः।तथापितामहास्र्पापितस्त्रिउश्चत
 वंसिपेइनोचउर्ध्वविंडमावसशमत्रितरुनत्ररीपकात्तनवलितेस्यःपेइत्यावापयदि
 पादाइहविष्टःसंस्तुतमहशसतिवरीस्यसर्वस्यसामाअमितिनिर्वयेराइडिणांमवीतागा
 हरावेषानादेरतोअव्यावहृदयंवानास्त्रिति।पकादिष्टयमासवातयासवअलपिचाविकते
 मत्राद्येसम्प्राप्राथवातेणासमुद्युहृहृक्वतामयाताविकरंउवि॥वाशुगाले॥शोऊमिमवाहृष

Folio 35 recto

left

अथ कणावनत्रयमसुधेदीनमः अथाननकडायातुरुपहमममाहितः पेशुंमवाचयावेमु
 देतोअपितव लिपराद्यादश्चखेच्चित्तः वितयेष्यपितृंमृष्टासवीमघरमृत्तिकाशममीमदे
 सः पठत्रतः इद्याक्रमणवासीसिअतवमृनेवादसाः ॥ गं (क) रापसिष्टहानिष्ठा (नि) लो
 अथिवापिष्टमृपितृंमृप्रतिमहृरुउदजधवनमृन्दीयाप्रमचनमातमः ॥ इवीमृध
 हविहतामसर्वसुरदानवामया (य) कोसिरकासपिशाचसंघहतामयायाउवनमधस

middle

उच्ये (पि) उश्यायश (या) रित्वा (बि) ति मंत्रं उ सर्वस्य धरु (प) ष्टम (त) ता रार्त्त र वि श्वि व सं मा र्त्त र
 वे पितर स्त्रि ति पश्य त्रि विः पठ्यती वी वि मृ ष्य च रु (प) न्ना वा चः पितर स्त्रि ति (य) स ह सु रु धा त्रं च म उ
 मा य धा पि वा । इति म म न वे द द्या च्छु लो का पी स म्भ व च । कृ ष्णो ली ती ल र क्तो ष्य (को) ष्या नि वि व
 म र सं क्ष भ त व च न मः स दा । (ह) मे ता य न म मृ ष्ये न म (सि) षि रा य च । मा म वे व स त्प ष्य दि वा स नो
 वि पा त न मे त्र ल सु सं घ ता त्मा त दि म वी स कू ड लि र थ वी चः शि वा हि ष्ट हिं शु व मि षु मा लो का पा द्द

right

क ता त तः ॥ अथ न्य व रु ल ना ध वि रा म्भ ह वि स्म त र । त न्मः मं प्र य पा च स्यो रु ल नि वा व नं रु ल र
 रु ष्ठी रु वा रु लिः ॥ प त हः पिते रा वा स (स्त्रि) ति रु ल्या ष्ट म रु ष्ट म । अथ कृ ष्य रु क (गा) त्र त उ च्छ वा
 रु ष्य रा म पि पा ध मृ वि वा स्य ष्ट मृ ष्ये श्च ल य नो वा लं द द्या ध वि श्वि व पि ष्ठा षा गा ना व ध वा । स प्र
 न म म्म दा वा स्यु ष रा ल ॥ म ष्ठा त्र रा न्यो पा लि न्यो कू र्थी ड (स्त्रि) व हि रुः ॥ त धा । नि ह व सं ये ध रि म य व
 रु ति वि श्वि सु त्र रा त्र तः प र्वे पि वा ह ष ष त हि रु स्य न स्या सु रा व र्ज य ती ह प्र ष्ठं । य षिः इ षा प य न

left

३१
 हा म मत्रु स्वात्त विषा म क मा व र्क यं ति ॥ त था ॥ म क र द वा त्र द नी र्दि ज र्दि र कि णा सु स्वा च्च या
 वृ थ यि वि ॥ वृ थ स्मा ता म हा नो र क वि दि च्चु ति मा त वा ध री थिं ड ना च व र्क ल मा उ घ्रा सु छि
 त्र च का श यं च वि व र्क य र्क यि च्च द धो ध सि य य य ह त जा न व र ॥ अ थ म र्क सि क र द न
 त्र ण द्वा त र्थ यि र्मा न्ते र्क नं ति तौ अ र्क मा न्ते र्कान ग थ च्च वृ ण य न त्र या ॥ का शि धु न र्क व का
 त ति च ॥ त था ॥ अ त था व ह वृ थि री नि वा य स्य उ म शि णी ॥ वि स्र वी का श्य पी ति व त था व स्या

middle

र्क कि णा या त्रि य ता वि वि ष्ठा उ व व स्या म्भु म्भु पि नि ले खं तां श्री णं ग नि र्ण प र्क प्र उ र्क त्वा त था
 व थ ना र्क सा उ व रा णा च रा णो य त्र न वृ थ द्वा य था क मा म य त रा स्या पा णि ता व द न्ने र वि प र्थ यो
 र्क नं नि य म व हा त था ॥ प व र्क त्वा र्क नं स म्भु व द्वा उ त्र र ता वृ थ ॥ वृ ही र्क र्क पि र्क ले खि ति ॥ क र्क य था
 यं म थ म्भु ला र्धि ना ॥ पा त वि पे त गा र वा र वा श्च पि त र ॥ पु न ॥ उ थ ग व र्क धि र्क णा नं प र्क मं वं उ र्क
 क री ति व उ र कान य नं ले व त वि वि स्रा क री ति च ॥ उ र कान य न ले व आ र्थो व र्क ण वृ थ ॥ धा ता

right

स द्वां न्मौ पि त प रा य ण ॥ पिं ड न र्क कि ण प स म्भु ग प स य म तं र्कित ॥ आ त्र ना र्कि म्भु उ र्क अ फ ले र्क
 उ र्क क म्भु च ले र्वा यो उ र पा च्च व स र नो ॥ कि म्भु उ र न वे र्क धा र्क नं का पी सि क र द था ॥ प त्वा र्क प र्क
 वि वि र्क अ प र्क यि र्क य र्क द र्क न वृ थ म्भु ले लं क र्क ति ले स म्भु य त्वा र्क प वि र्क उ ॥ त था ॥ ले न म
 र्क त ॥ म हा ना र त ॥ प य च्चु दि र्क मा वि र्क यि र्क यि र्क म मा हि त म्भु सा मा य ति च व र्क यं त था वि र्क मा
 त प ॥ आ र्क णा त्ता र्क यि त्वा उ र द्वा र्क श्वा उ र कि णा र्क अ नि प र्क यि र्क य र्क द्वा क मा र्क वा र्क

left

३६
 पात्रिकां वाडेवाङ्गतिरुपकृष्टात्पणविमर्शं त्यशवहिः प्रदक्षिणं कुर्यात् रावणवतुष्ट
 निमतद्यैश्च सिद्धस्य सप्तमितां प्रकुर्यात् निमतद्यैश्च सिद्धस्य सप्तमितां बुलपाहवाचनं
 त्यशः। तद्विधमार्थं कुशलो नित्यवाचहस्यति। पूर्वनिवृत्तयस्त्रिपञ्चाद्विधाश्चामाङ्ग
 प्रवासावशात्पञ्चममं पिंडं मासलहिनया चितः। आधत्तमितरागर्भसत्रः प्रदानव्यं
 पूर्वकाऽत्रमागतिमञ्चिच्चर्गा ली नित्यप्रयश्चति। असंपन्नं यथाः कीर्त्तिससु नित्यं निम

middle

देशं वप्रवर्गिणसहितप्रवनायममञ्चितः॥ महात्तारत॥ आह्वापवर्गानि युस्य वक्तव्यं सुदितं नवे
 देववाह्यस्य विधीयते। पतदेवनिर्वाकरं कुर्यात् विधीयते। तेष्वस्य त्वेव वक्तव्यं विधीयते।
 त्यशः। अस्त्रके प्रावत्येडा म कं पत्रे निवृत्तयशपकं चक्रुः या दाम्नात्रय विंशः प्रकीर्त्ति
 शानो हस्यतिः॥ अत्रादेहागतापत्री लो गिणी गनिनी तया। तदनेकी लघुधनः कागावात्ताक्ता
 पायत्रा प्रा धै यदीयं मासुद्यं वा यलस्यः प्रयश्चति। आकाशंगमस्यश्च सुतावा दक्षिणासुत्यः

right

शक्रत्रियस्याव्याख्यव्याख्यीयत्रो पितरश्चि ति। अथवर्गि उवे स्य स्याह कर्म लोनाः ता अकुर्यात्
 वतांति। प्रहस्य गण॥ इष्टुत्रिके विहावायपश्चात्पिडा निवृत्तना प्रकृतविविधाणां पूर्वमित्ति
 ताः॥ मध्यपुराणां॥ पिंडाश्चागाङ्ग विषाल्या दद्याद्दाम्नाङ्गल विवा। विधा त्रवाधविके त्रिधायां त्र
 मर्हति। वा सुपुराणां॥ पिंडमयो प्रदद्यात्तु क्त्वाधी यत नं नुर॥ पात्र्यापमार्थं दद्याद्दिमं वा तं मेव
 । पिंडेणाश्चाने माकाशं दक्षिणाश्चि वचामुः॥ अष्टुधला उत त्विष्टया वदिवा विमर्शिताः॥

Folio 37 recto

left

॥वशिष्टः॥आहनाहमतीयातिउच्छ्राल्पदिनकयाराःप्रात्रत्रवेडत्वावदारापिर्व
 वंताअवश्राद्धान्नचर्मा॥मनुः॥प्रकाल्यहमावाचम्यमनिप्रायंप्रकल्पयेश्चानिचःसा
 ल्यानकविशर्वमप्रवैशर॥कोलाङ्गिनिः॥यथाप्राद्वैपित्तसुखंमिच्छतिमानवः॥वि
 विश्वदेवत्रतःऊर्ध्वोत्पन्नाद्वात्मणामाहुर्न॥देवनः॥निघ्नतपित्तमवतंसीत्प्रकाश्याणि
 मीता॥यमः॥निष्पानाद्येनयापेथयक्तिविद्वेष्यात्तद्दत्तानानाक्तद्यपित्त्वात्त्रुचनित्तद्यक

middle

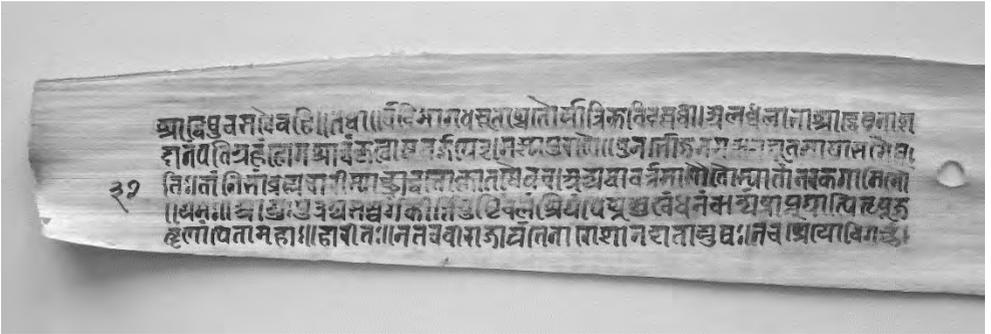
त्यक्तुत्वात्तः॥वत्प्रसालोःअसंघाततःसूर्येदिप्रपात्राणिवाग्निनिःक्रियत्यथतोत्त्वासर्वा
 कृतेरज्ञायश्चानपिप्रज्वलन्ततोत्तहवलिऊर्ध्वेतिप्रधामोद्ययश्चितः॥मार्कण्डेयपुराण॥नित्य
 श्चदेवंतथाऊर्ध्वेनिघ्नतप्राद्वैकर्मणि॥मध्यपुराण॥निहृत्यप्रणियत्याश्रयैकाग्निममवति
 नाश्चाचमायाणीप्रकाल्यन्तीति॥षण्णानाज्ज्वलन्ततोत्तसिद्धिउत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तु
 वचन॥शैखः॥यत्किंदिदृशत्तमाहृतस्तेनमममवापिभ्रमनिवेद्यनचर्जीतपिउत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तु

right

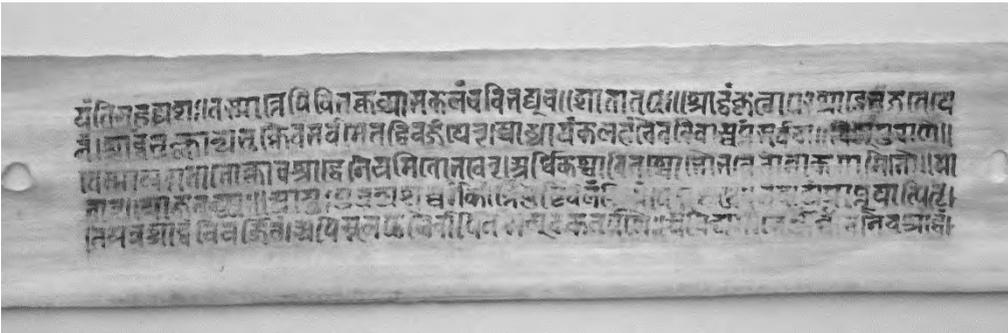
प्येतिशुचानपिद्वितीत्यहनिःसर्वधीमाडानांज्ञानत्रयाश्चनत्राज्ञायत्तत्प्रवित्तुलोत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तु
 क्रियापित्तुलोवक्तेविद्विष्टेतिमत्रमधुनापित्तु
 विश्वदेवंप्रकृष्टीतानेयकंवलिलववाःआदिपुराण॥पित्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तु
 याश्चुयवयनीतिपिडायापमदाहवशाउशनाः॥नेत्रउत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तुत्तु
 नासर्वतःममवसायशासावराथैद्यद्यथाः॥वत्प्रसालो॥नगित्यावाश्चवाप्रस्था

Folio 37 verso (infrared photography)

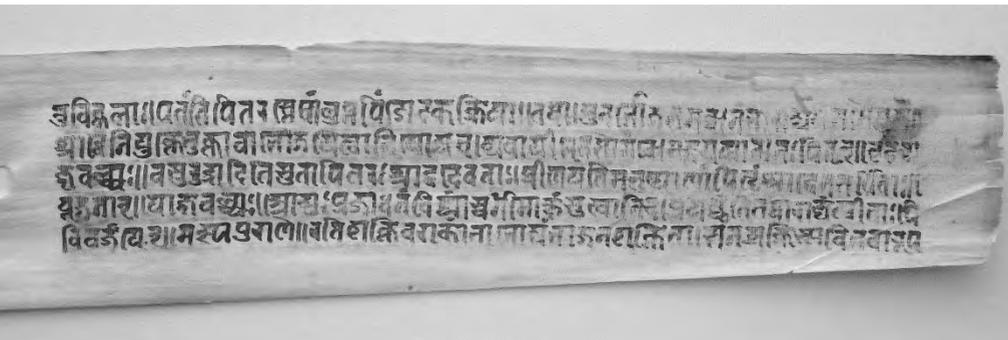
left



middle

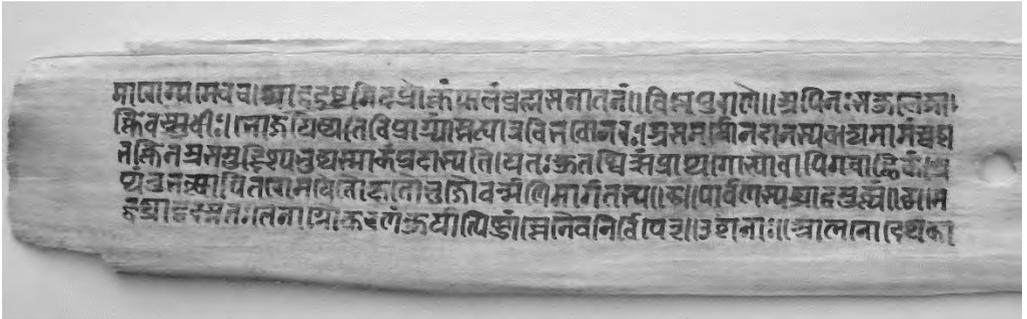


right

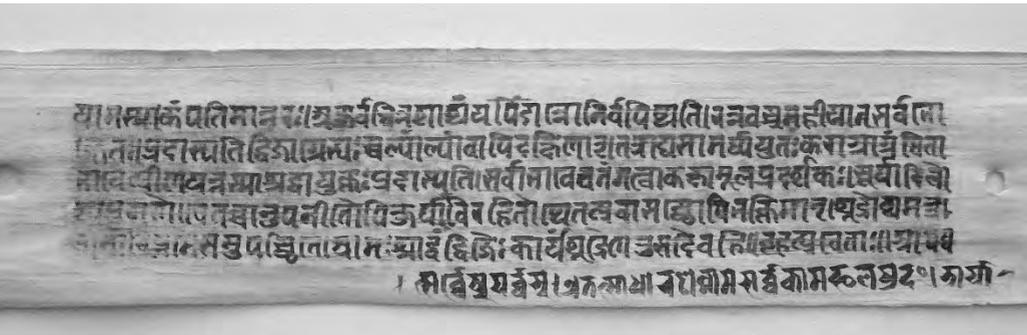


Folio 38 recto (infrared photography)

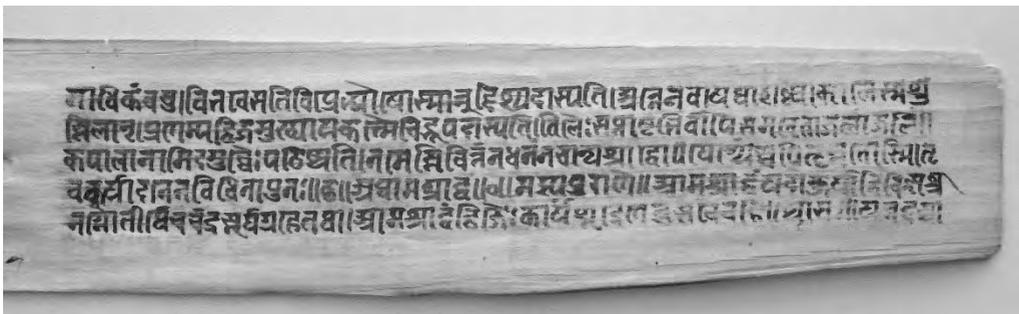
left



middle



right



left

३२
 ३३
 ३४
 ३५
 ३६
 ३७
 ३८
 ३९
 ४०
 ४१
 ४२
 ४३
 ४४
 ४५
 ४६
 ४७
 ४८
 ४९
 ५०
 ५१
 ५२
 ५३
 ५४
 ५५
 ५६
 ५७
 ५८
 ५९
 ६०
 ६१
 ६२
 ६३
 ६४
 ६५
 ६६
 ६७
 ६८
 ६९
 ७०
 ७१
 ७२
 ७३
 ७४
 ७५
 ७६
 ७७
 ७८
 ७९
 ८०
 ८१
 ८२
 ८३
 ८४
 ८५
 ८६
 ८७
 ८८
 ८९
 ९०
 ९१
 ९२
 ९३
 ९४
 ९५
 ९६
 ९७
 ९८
 ९९
 १००

middle

१
 २
 ३
 ४
 ५
 ६
 ७
 ८
 ९
 १०
 ११
 १२
 १३
 १४
 १५
 १६
 १७
 १८
 १९
 २०
 २१
 २२
 २३
 २४
 २५
 २६
 २७
 २८
 २९
 ३०
 ३१
 ३२
 ३३
 ३४
 ३५
 ३६
 ३७
 ३८
 ३९
 ४०
 ४१
 ४२
 ४३
 ४४
 ४५
 ४६
 ४७
 ४८
 ४९
 ५०
 ५१
 ५२
 ५३
 ५४
 ५५
 ५६
 ५७
 ५८
 ५९
 ६०
 ६१
 ६२
 ६३
 ६४
 ६५
 ६६
 ६७
 ६८
 ६९
 ७०
 ७१
 ७२
 ७३
 ७४
 ७५
 ७६
 ७७
 ७८
 ७९
 ८०
 ८१
 ८२
 ८३
 ८४
 ८५
 ८६
 ८७
 ८८
 ८९
 ९०
 ९१
 ९२
 ९३
 ९४
 ९५
 ९६
 ९७
 ९८
 ९९
 १००

right

१
 २
 ३
 ४
 ५
 ६
 ७
 ८
 ९
 १०
 ११
 १२
 १३
 १४
 १५
 १६
 १७
 १८
 १९
 २०
 २१
 २२
 २३
 २४
 २५
 २६
 २७
 २८
 २९
 ३०
 ३१
 ३२
 ३३
 ३४
 ३५
 ३६
 ३७
 ३८
 ३९
 ४०
 ४१
 ४२
 ४३
 ४४
 ४५
 ४६
 ४७
 ४८
 ४९
 ५०
 ५१
 ५२
 ५३
 ५४
 ५५
 ५६
 ५७
 ५८
 ५९
 ६०
 ६१
 ६२
 ६३
 ६४
 ६५
 ६६
 ६७
 ६८
 ६९
 ७०
 ७१
 ७२
 ७३
 ७४
 ७५
 ७६
 ७७
 ७८
 ७९
 ८०
 ८१
 ८२
 ८३
 ८४
 ८५
 ८६
 ८७
 ८८
 ८९
 ९०
 ९१
 ९२
 ९३
 ९४
 ९५
 ९६
 ९७
 ९८
 ९९
 १००

Folio 39 recto

left

उक्तं ज लिच्छदीपं वं ज नं प अत्र तः य क्क पार्श्व प वि शिष्टं ॥ हा भांतः पितृ य स स्याः स्त्री त्व सि
 त्वा पितु त क स्य स त द्या नु वा मा ह म नी षि लः ॥ जी स्वा वि व स मा लो घ म द्य मे त न त्ता न्द य र
 स त्वा क्क ॥ जी व ता म जी व ता वा द य म नि ति हि व ण्य क्क उः ॥ त द्या ॥ प क्क सि न्नि पि जी वे त्वा स ॥
 तुः स म्प व व त्त्र स्य जी वा च्च स्य पि ता म हः ॥ पि तुः पि तु पि तुः द्वि व त्स्या पि पि तु व व वा ऊ र्वा
 म ग व र्जि ता यु क्त मा च्च श्रु त द्वा य न्य प व द स त्वा लो ॥ अ ध हि पि त्क श्रा ष्टे ॥ शो स्वा य न स

middle

त विज्ञानतः पितृ बालक चित्वा रापि षो निवृण्णयात्यरो ॥ त्यन्म पिंडा सिता रद्या तस्यः पुत्रा
 ॥ द्वि पि षो वा स्म ल द्वा र श्रा व स्र मि वा कि प र्श उ त य स्य य ती तो उ जी व त्वा य पि ता म हः ॥ पिंडा
 न नि ति का त्या य नः ॥ कु ल ग प वि शिष्टं का त्या य नः ॥ स पि तुः पि ष्ट क्क स्य ष्ट्र वि का लो न वि द्य
 सि ड्त्र य स्य म्प म्पु त्त् प पि ता म हा षि का प श्रा ष्ट ला य व स्र त्रे न प त्वा ऊ र्वा ह्री व न्यः स र्व र्जि तो
 त्वा पिंडा च्च य व त्त्रि न नि वा यो जा त क्क सि न्नि ट्वा न द न जी व त्वा उ व सि न जी वा न्नि हा य त्वा

right

निहाय अत्र न जी व तं म ति र्दद्या दि त्य वा ने ग मी शु ति न जी व त्वा ता म हो य स्य पि ता वा न्नि नो तः
 निवृण्णया ह्वा जा र्ज्य स्य पि ता म हा नि ग मः ॥ त्या वा जी व ति पि त्वा ता ता र्ज्य स्य पि ष्ट स्या न्
 ता न जी व तं म ति क्क म्प कि वि र्द द्या दि ति श्रु तः ॥ पि ता म हा पि य म्प लो य तुः ॥ य त स्य नि र्द य रा पि
 स र्वे जी वि ना ना मा च्च वि द्वा श्रु त यि ता म ह प्र पि ता म ह ति का त्या य नः ॥ वा ल्य लो हि हा त्वा य म नि न
 द्या वा पि ता त स्यः पु त्वा हा मा त्रे ता व र वा द्या य ग ॥ अ ध य दि पि ट्वा य न स नि जा वि का र्थ त्वा लो क्क ता

left

सुवसि गृहीतवचनवति अथवाद्यघांश्चासुतायी सुपत्येनस्याहं हंसः पितृं जालेन्य सुप्र
 त्रैकलेतिता क्वैवीं जेवाहति उनेयदर्शना उनावा रथपयप्रनात घामुत्यादयितुः प्रथ
 वृथकुरा कादवीसमादद्युवी किंकित्रिकवा म्रधा ॥ याहुवष्ट्रः ॥ सुप्रवणपराह्वानियो ॥
 लकृशिशवीजिनदद्यु रादोउमृतपघाप्रसीयात ॥ अति यदिसृति स्यातां ॥ किंयादातडा
 सुकापनतायाज्ञ पिडेदावाइवावत ॥ ॥ अथउत्रिकाश्रद्धां ॥ शंवलि खिति ॥ ॥ उत्रिकाहिउ

middle

रुधंदद्युः यद्यपिस्याइनात्यामवदद्यादित्या चार्यवचनं द्विभ्राह्मण्यीरकश्राइवायुधगमुहि
 मप्रवतिनवति ॥ इहादिपि अनिवेपेदश्चरकापिनावाहावकीत्रैत्यतद्वितीत्युवसुतीत्यपो
 गात्याइवः सुतः ॥ उनावा रथसोअकौ पिंडसाताचधर्मतः ॥ मरी विः मगात्राहाश्रनात्राहा
 दराह्वानियासनदत्रेभ्याइहीजिनानापतिष्ठति ॥ नापदः ॥ ज्ञातायात्त निधकायामकनवर
 ववदिति ॥ प्रवतसः ॥ तस्याअपत्येउत्रिकासुतामातामहपितामहानो पिंडः सुवलाहिज्या

right

श्यपिंडहावउकीत्रैत्यत्य त्तः गृहीतारंवात्याहयितारंवाहतीयासुरुषाराहासीतः ॥ नावीजं ह
 जाल विनद्युवीनिवावकुलश्रासप्रमादित्यक ॥ नापदः ॥ इहायुधायणको रद्युहाया पिंडादक
 यानवद्विधवासुतः ॥ पिंडंश्राहं विकानत्रैकत्रिणप्राश्नरापत्यरावाइानउतनेः पश्चाह्वीजीवति
 निम्रयाअमन्नजाडासम विवीकिनामवतसुताः ॥ इद्युस्रवीजिनयिडेमात्तकुक्कताहनाये
 त्रविशाषासिउयहा ॥ मउभादोहिवाह्य विर्ल विक्कुमसुवस्यपिउहंस्त्रासपवदद्याद्विपिम

Folio 40 recto

left

पितृमातामहायज्ञतथा।मातुःप्रथमतःसिद्धंनिर्वप्यत्विकाचुतः॥द्वितीयत्रयविंशत्याहृतीय
 मापंडीकबलविवहायतच्छाहाषाडशो।एकाहृतत्रयण्मासायदाभ्युनयिवाविति॥अना
 धीतत्रिप्रोक्षतपीयूषा।विश्वयनः॥एकादश्याद्वादश्यावाश्राद्धकर्म॥पिंडीतमिः।अतः
 स्याप्यायनेवयत्रासम्यक्स्वस्वत्प्रर्णे।पितृणांश्रुानमस्तुति॥यमः॥वृत्रार्घ्येचमविवनव
 निवाडश।पिशाचत्वे।शुभेवस्यदत्रिशाद्धशतैरपि।शस्वगततः।प्राहमसुद्धोउकुर्यादका

middle

उविदुःपितृगण्यत्किंदिष्टं॥सुहागपसिद्धिंकात्यायनः॥प्राहमशिवतःकार्यसिहात्कादश्या
 संवसर्षत्त्रयस्मातोषण्मासितदा॥वस्मभुराले॥तृणोउत्पन्नरहागोश्राद्धास्त्राडशमर्वसा।उचु
 मप्रमासिमासिप्राहंस्वस्वत्प्रर्णे।विमर्डीयत्रानवमास्यमित्येक॥यमः॥वृत्रार्घ्येचमविवनव
 मकादशतथा।यदन्नवीधतर्जातासन्नवप्राहसुच्यते॥देवलः॥एकादश्यादिनिप्राहिसुतया
 दशतथा।कर्त्तव्याकालिकीशुद्धिरशुद्धिमुनावसः॥याश्रः॥एकादश्यावृत्रार्घ्येचमासिमासिव

right

हनिवृवालिउप्रकुरीतपमीताहनिर्वहा।हादशत्रयतिमास्यानिप्राह्येण्मासिकतथा।
 र्षिणवत्सवाधनवमेकादशतथा।ताहादशतिमीसिप्राहाहादशसंस्मया।कर्त्तव्याशुचितिसं
 मकादशतथा।यदन्नवीधतर्जातासन्नवप्राहसुच्यते॥देवलः॥एकादश्यादिनिप्राहिसुत
 प्यायनेवयत्रासम्यक्स्वस्वत्प्रर्णे।पितृणांश्रुानमस्तुति॥यमः॥यद्येतानिप्रकुर्यात्तैरेकादिष्ट
 सवराप्रतिसवसर्वैतवामकाइष्टंमृताहनि॥मश्युबाला॥ततपकादशाहउद्विज्ञानिका

left

रथिवडा कुत्रादिभूतका प्रवृत्ताना जत्यदद्यात्तादिजावा द्वितीये द्विपुनस्रदाहका द्विषंममाव
 ४. द्विसर्गावा निरुम्पतात्वा आद्यालायनगृह्यपरिशिष्टे ॥ नवप्राद्वेषमर्वसुनस्रमना निरा
 पादः आवात्रास्त्रवे विमाननवास्त्रलाद्याशास्त्रिके उदयूता गधमाला वञ्चालेका राशित्तः
 श्रुती प्रावदधः स्वातावित्तयायतो द्विषः कङ्क कथीरक र्दसमीपचा शिचयमुपसमावय

middle

एराशातातपः ॥ एको द्विषं उयप्रादे निमिन्निकमिहाद्यात तदयुदिवं कर्त्तव्यं मयुभ्यानाशाय
 निरुम्पवा विमर्गा निरतास्मदित्यपवा ॥ पा उयप्राद्यैषिका एवस्त्रपुराणेते वद्विः श्रुतिनेकात्रि
 म्यरश्चयस्त्रविष्टिडा देवे मरुत्यलाववर्त्तः ॥ एको द्विषं पितृ उ अत्रुशाद्यानुयुष्टात ॥ पितृ
 श्रुतिनाज्ञा ज्यरपकवञ्चत्रा रेतेनेका द्विष्ट अत्रिष्ट सन्निभ एवक मवेतनामगात्रायापिदं निर्व
 पविस्तीयैके स्मिन्नाइतिवयं ऊङ्गमाशला मावपिरमतसमानमः श्चानत्रत्यवप्रास्त्रयेज

right

द्विजाश्रकाद्यायनः ॥ अथिको द्विष्टपको र्थपकं प्रवित्रमकपिं ज्ञानावाहनं नाप्रोकरणेनात्रति
 दितिवामंत्रये द्विजाश्रुः सुष्टदिते तउ प्रतायाकेयमस्ति ॥ मरुपुत्रालो ॥ द्विने विकारुष्ट्या
 शर्द्वेनकुर्वीत पितृहासापजायत ॥ विष्टः ॥ अद्याला वद्यपगमेस्त्रप्रातः सुत्रका लितप्रातो
 पवृत्तवसुवास्त्रलेषुदक्लिणयानि प्रकृतेषु प्रेतनामगात्राया र्दत्रा कृष्या र्कषुचुत्रयुला
 निर्वययो कथी र्त्ताता मरु पृतमभ्यांते कर्त्तव्यं कथी र्दतवृदतिडाये र्पवे शृता ह प्र

Folio 41 recto

left

नानुं कर्षीत् ॥ एहस्य तिः ॥ पाकादिष्ट विमाननयादेकस्य प्रदीयत् ॥ आवाहनात्प्रोकरत् ॥
 अत्रियातिज्ञनीयाश्च नचमज्ञत्रयोदश ॥ नतयोर्वस्यनिष्ठासवावातिष्ठायात् ॥ तत्र
 लासुष्ठविष्टादतिज्ञत्वावात्प्रामात्रणाक्रिया ॥ गत्वातिदवनाकत्वेकतात्रविहिताया
 ल्यातिलनप्रतस्यहितकामया ॥ प्रनावयां उद्यर्वर्षी ॥ अदितरदिवाकप्रश्नप्रुक्कर्मका
 दिष्टाशुश्रुत्वाद्यध्वीनागनिर्वापयति कर्वात् ॥ त्वरधीनेजगडात्तदद्विष्टकृतं तवरा

middle

दिववर्तिनं वञ्चालं कात्रययाद्यं पितृयद्वाहनाद्युधं गंधमाल्यस्समत्पृथी आहला कृतदप
 दद्यादक्रियात्रिधां सविधामुत्तपनः ॥ हेतमात्प्राप्रिये आहं हातायहास्यदक्रियात् ॥ तस्मात्प्रा
 धः ॥ मनभावाश्च नूतेन विप्रत्वाहं निष्योरुत्पशुप्रुत्रिष्टा ॥ मिनागानपवंति ॥ अत्रिभैव
 प्रयेत्वा नखिद्वैततः प्रवापनाशुं नंदद्यादियाय विधिपूर्वकं ॥ एकीयाहं मिनागं वञ्चि
 नत्वाः ॥ पितृवृत्त्युद्गृहीतहृदयचनपतंति निशयेयात् ॥ तानाद्विष्टनभुदवि ॥ सवलस

right

अथानाज्ञनेचानकविधंकारयद्योजना निवाद्यथायथाप्रदद्याच्चगात्रहमदिकंतद्या ॥
 लंका किलिवाफलं शुद्धमवापिवा ॥ अद्यादक्रियेयहेतदासमफलोत्तवरा ॥ वराहपुत्रा
 अमंगलतवद्यादिव्यगत्वाविप्रनिवृत्तानां रत्वा उपये विधिप्रमसुत्पद्विज्ञात्रमाद्यापुद्ग
 लेतदनेनचं निधान ॥ दशं तं गृह्यकर्षयं ॥ उलेमहरानदीकालनिवासेवाप्येतरं निवि
 पने कर्षी गत्वा विदमहानदी ॥ तीर्थनिमनसथात्वात् ॥ समस्य कयेद्वधः ॥ पवंशु द्विततः ॥

left

त्वावातलंशी प्रमानयश्रागतं चिह्नं दृष्ट्वा कर्तव्यांश्चागतक्रियां अर्घ्यपाद्यंततः कृत्वा ह
 शिरसा निवृत्त्यां च निविश्याम्य च मंत्रं वचं उपविश्यात्तान्मन्त्रं सुत्रं तत्र प्रकल्पयेत् श आत्म
 तात्मना तांमगात्रं सुदाहृत्य प्रताप्यत इति वचं शी प्रमा कथं न्मिदं तं ह्माध नृतला मनुः
 ४१ नः सा निचा पुनः पक्वा मकं तिव कल्पयित व सुध वि। विष्वाणी प्रक नैद्य पाक लाऽनू मवचा सु
 धला प्रतना ग म्प्र सर्वे हाः सु तिव गिष् मित्र उ मं वै विष्वा निष्वा नागत म्प्र द्वा तथो। यता

middle

सृष्टुं इति माधवि। आसनं त्वेव कल्प्यत मंत्रल विष्वा र्कं अत्रा सानदे वगतात् उक्ता ता विष्वा
 ला धं सुत्रं तद्वा त्मला यद्यदी यता पश्चात् इ पात हा दद्यात्वा दृष्ट्वा र्कं पश्चात्। मंत्र प्रवा लुकात्
 ॥ इह ला क्प सिधय गता सि प र मी ग ति। प व मा क्कानि त ग ध उ ध र्वा स म र्च यत्। गंध मे वः।
 अथाम नि प्रजा तो श्रु द्वा णी च व रान ता दि त त्र त्या द हा प्रा प्र पा क्क न ता र्क त्य द्विजा र्च। प वे ति
 धी य म्प विद्य ता शु वि न्त्वा उ वि श्व र्कं त्वा सी च्च र्का निचा प ल म्प्र शिर सा दे व नि वा प श्चा

right

म्पतां द्विर्चर्या उय हा श्र सा द यत्वा म नं गृ ह्ण प्रत सता शिष्टु हत का ल विष्वा प्र कल्प पा ला
 सा म्प कं र्क नि वा न्त्वा। मन्त्राय ति ड गी ला ल्य त् र र ड्वा न हा। ति ता प च र्क त्वा उ विष्वा म्प निष्वा
 सर्वः सु गंधः पुष्ट मंत्रः शिष्वा देयाः धप मंत्रः मन्त्रा वत म्प नि र सा ता ता व श्वा नि वि प्रा य सर्वा ल्य
 विः प्र ष्वा क्क य म्प द्वा णी मंत्र व र्कितः। आनि व म्प च म्प द्वा म्प विष्वा मे व ल गृ ह्ण ता। उष्वा मान म्प वि
 न मा गत ग्हा ता त थो नि र मंत्रा नि म म त र्का थ व श्चि त्प्र मंत्रः। ता मा म्प। म वि नि ला क्क वि उ वि

Folio 42 recto

left

महिषोन्नमिष्वलिधरलिनमः।धरलिकाष्टपिडगत्यतिष्ठनिष्कपुना।शिवतामानामाम्
 यथामानममिहिक्षाः।सुहृत्तत्रविश्रुम्यनिवापेष्टानमागतमगवान्।मूलसुहृत्सवालाणे
 ह्यत्रविष्टति।देवाभ्यापिसुखाश्वरीश्रुपिथिवाविनागघाः।रतानांशिवलेदद्या।आस्यणेनाश्रु
 समती।तदद्या।हतकृतशिला।विक्रान्तः।रुक्मिदादशकैश्चाद्वेद्यादशिकमभवत्।ततश्चा
 वीत्यलेः।ससुष्टुजराततः।सुयत्रनुं।श्रीतपुनर्मगलानाजुने॥हारीतः॥मृत्युविनविप्रुत्रव

middle

देद्यात्रिलोदकं तस्य नामाप्रसुदाहरश्चमवा।नाद्यो।जोवर।णोनमस्तु।द्वि।डात्रम॥वालिना
 हसश्चाद।शयात्रअइव।सत्ररुत्वात्रवतिलोदकं।उपाहवंतिमत्रल।मामवदक्षि।तम॥मंत्र
 त्रा।रावत्र।प्रवत्ता।गानदात्रनप्ररु।द्वि।डात्रयः।मृतस्यनामसुदृष्ट्यत्सुयै।मापस्तु।त्यै
 द्विष्टु।यितरं।डा।रा।धनेददो।महाही।णिक्र।त्रा।नि।धवा।हेन।भवत्।यात्।नि।डा।सी।दा।सा
 इमहेसमाप।श।अत्रैकुं।तचविषा।याप्रतसुदृष्ट्यधर्मतः॥पुनः।अहवहवत्रम।अभवात्सणा।

right

या।ले।मंत्र।नाम।त्र।लो।द्या।प।त्य।द्वि।डा।ना।दद्या।च।स्त्रा।सुतं।दे।त्रि।ता।षे।व।धनकं।कती।अत्रुनं।कं।क।णं।रु।ह
 प्रर्वत्रे।डा।वा।सं।म।र्व।वा।प।प।ला।मनो।रु।ह।लो।इ।मुर।वा।त्रे।वि।षे।ल।नि।य।ता।ल।ना।मं।त्र।ल।रु।ह।त्यसर्वसुष्टु
 ।सु।मि।ता।वा।त्र।वि।षा।य।दद्या।त्ये।त।वि।मर्कं।ने।त्या।द्या।अ।य।च।ग।ष्ट।व।मं।श्रु।य।कं।णं।सु।त्रे॥श्री।वा।मा।य।त्॥
 शु।व।श्र।मा।नि।शु।म।हा।त्रि।वा।व।सु।ला।नि।च।सु।त्या।नि।रा।ह।सु।सु।या।धं।दि।हि।को॥द।व।ने॥।प।का।दि।ष्टु।स।घ।उ
 त्या।रुं।न।दद्या।श।यं।उ।मा।द्या।क।नि।शु।र्णं।नि।या।रुं।व।सुः॥।श्री।वी।सु।पि।डी।कर।णं।य।सु।मं।व।सु।वा।इ।व।श।न॥

left

४२
 स्याद्यत्रासादकं तदद्यासं वशं द्विजे। उद्यातः॥ एको द्विष्टं तं ऊर्षीतया भिनां विवसवशा अह
 प्रयिक्र विना। प्रतमं कारकमी। लियानिभ्राज्ञातिवोडशा। यथाकालं कार्या। लितान्यथा उद्यत
 षोडशा। तित्या। जलकरं यं पुत्रवां। सु। तितामहः॥ अथमपि डाकर लताया॥ शा। तातपः॥ शिवः
 हेलोमकप्रतपात्रे। पित्या। जघ्नासि वति। यममानासमनसः। पितपायमरा। छेतधीजोक
 हाया। बा। हा। लो। ज। ल। य। रवा। मो। कर। ल। मा। वा। हनं। पा। टी। व। ऊ। र्पी। र। से। म्पू। र्जं। उ। त्वा। ट। धि। वी। व। स। मा। ना। व

middle

अकाराद्यत्रास्येयवैकुं विधीयतामपि डीकरणांतवानकरं यं सुखनोवे। विरं उग्रहाणा। रवा। प्रत
 तउः॥ मपी विः॥ सुख्यभ्राह्मसिमासि सुपयी प्राहृतं प्रति। द्वा। रशा। हनवा। ता। द्या। एका। ह। द्वा। र। धा। यवा। द्वि
 सु। तं। व। वि। रु। यं। म। पि। डी। कर। लं। त्वा। श्रु। क्वा। या। प्रत। क्रि। वा। वृ। वि। गो। ति। लः॥ रा। स्त। सं। व
 स। न। मा। य। क्वा। दे। वि। षु। क्त्य। नो। यम। मा। नाः। म। म। ना। सा। जी। वा। री। ल। षु। मा। म। काः। र। स। वी। श्री। म्पि। क्त्य
 इति। प्रते। पा। यो। पा। त्र। य। यो। द्या। ज। ये। उ। द्वि। षु। सं। त्रि। वि। पि। डा। व। उ। षे। ऊ। र्पी। र। वा। स्त। णा। य। ध्या। वा। त। ह। स। द

right

त्वं विनायत॥ लपु हरीतः॥ सापिंडी करणं यावत्प्रेतभ्राह्मनिषोडशा। एष निवसुताः ऊर्षेष्टमपुष्टा।
 सागयति शिष्टं का ह्यायनः॥ पितमहं पिउः पश्चात्पेव त्वेयसि गच्छति। यो। ज। लो। का। दशा। हा। दि। क्त्ये। प्राह
 अ। र। त्रि। प। ह्वा। य। द। ही। द्वि। रा। प। य। ता। त। द। ह। श्च। त्वा। नि। पा। लो। म। ति। लो। का। नि। प्र। यि। त्वा। जी। लो। पि
 वा। मा। स्म। ला। क। सं। तं। स। मा। इ। त्वा। त। ने। वा। यं। डौ। द्या। र। या। तः॥ वि। श्रः॥ सं। व। स। रा। ते। प्र। ना। य। तं। त्वा। य। तं। यि। त्वा। म
 द्वि। णो। द्या। उ। व्र। ष। वि। स। र्जं। ये। श। तं। तः। प्र। तं। पि। डा। पा। द्या। ण। त्क। व। शि। डं। त्र। य। नि। र्था। क्क। र्शं। य। स। त्रि। क। र्त्तं। य

Folio 43 recto

left

वीसपिंडीकरलंमामिकावृद्धादशाहंश्राहंरुत्वात्रयोदाद्यानिवाक्यीरुमंत्रवर्डीहभ्रुजालोः
 चातावात्राहृत्वावासापिष्टाहाद्यपेवचासहपिंडीकराकृत्वाकृयीदस्यत्रतःताषिवकाथे
 परः॥विडवापः॥अथमपिंडीकरलंमंत्रवसपामकेपिंडमउद्विष्टासेवसरोत्राचत्वाद्युदपात्राः
 रजोविनाःसमानोवश्राकृतिःसमानाहृदयानिवःसमानंमन्त्रामानायथावस्यसहामतिःसंगा-
 नः॥यत्नेचनिदिष्टाशनित्रय्यचउरः॥वेद्यंत्विइतः॥यतिनामतः॥यसमानाहृदिहाद्योमाद्यन्नविचरु

middle

हादशाकृतिंमंत्रवसपामिकावृद्धादशाहंश्राहंरुत्वात्रयोदाद्यानिवाक्यीरुमंत्रवर्डीहभ्रुजालोः
 यद्वंमंत्रवसपामिकावृद्धादशाहंश्राहंरुत्वात्रयोदाद्यानिवाक्यीरुमंत्रवर्डीहभ्रुजालोः
 लोथ्युनक्ति।तत्रैकंप्रतायत्रीलिपित्तप्यःसात्यतपात्रंपित्तपात्रघासिचति।यसमानाहृदिहा
 इधसेवामनासिद्धमनो।दवातागंयथाप्रर्वित्तज्ञानानाउयासाताइत्यनिसमपतित्तज्ञानःश्रीचति
 विष्वापसपवविधिःपूर्वमर्षयात्रउद्ययात्रसित्तवित्तपात्रालिप्यतपात्रलमत्रविशा।आश्रनाय।

right

नश्राहुलज्यमीणांउत्साविवायुषकयात्र।अश्रितेद्यश्रीरुमंत्रवर्डीहभ्रुजालोः
 पित्तहावापकायत।तथा॥सपिंडीकरलंमंत्रवसपामिकावृद्धादशाहंश्राहंरुत्वात्रयोदाद्यानिवाक्यीरुमंत्रवर्डीहभ्रुजालोः
 सोपिष्टानामक्षा।निष्टयात्यववाउगतःपुनःपित्तसंरुमंमिवःशिवमस्ति।तिष्ठावर्मीमायेतश्चि
 वाविनीनादिदे।मशा।शातातयः॥सपिंडीकरलंमंत्रवसपामिकावृद्धादशाहंश्राहंरुत्वात्रयोदाद्यानिवाक्यीरुमंत्रवर्डीहभ्रुजालोः
 यत्ने॥हा।अथमपिंडीकरलं॥हा।वत्वाद्युदपात्राल्येकंसत्यत्री।गततद्वोप्रमंयात्रेश्रिष्वा।वप्रुनियो

left

इत्यथ मधुमतीनिःसंगमद्वयमितिहास्यमिवं चतुर्थी च च यितो नवति। नचात्रैवेलाइत्यशपा
 नानियानिचक्रताता नि विक्रमन एषाति इत्यसमावप्यशततः प्रयति विषयतयिहमा माथ
 तविप्रमहासुतुचतुर्नीगंडले द्विपयततः पितामहा दिशस्यत्रिष्टयप्ररुष्टयकाद्यसमा।
 त्रुर्ववेराइती पिंडमयाद्यै धात्वानं चयतासंवां स्वयं प्रयुयइति शतस्मिन्पियततस्त्रिमा।
 कृत्वा प्ररुष्टय शयव्ययसवापेदीयमाल्पाउलपनिः सुख्यउपिनरं कृत्वा उतव

middle

एवतर्धमत्रायेवइवागभ्रमाल्यैः पात्रमर्चयित्वा कृतं एवं पितः पालिप्रदद्यात्। हारीतः। सम
 माप्रघारा विइत पितलोकं चततः श्राद्धं प्रवर्त्तता। ब्रह्मपुराणे॥ चतुर्थी श्राद्धपात्रं चतुर्कं वासा
 नाइतिहास्योतकृते उभययश्रवे तलेव विबिना। यतनपात्राप्रपूर्व वरातन्यः स्वर्गं नि तद्वि
 कृत्वा पितामहा दिश्य पितृभ्यश्चतमर्षयरासं सुई उक्ता युधिवाद्यव निः प्रजापतिः। पतम्ये
 इत्यशवाक्रमराएतवितरि अस्याथ विद्यतवपितामहा। तनदेयाश्रयः। पिडात्यपितामह इव

right

प्रोहप्रशुश्राद्धं विधित्य तियाइत्यशवउत्तानिर्वप्यपिंडाप्रमंतं प्रसेवापशतपां प्रशुचं विवहावहा
 नपाणिनाएहीत्वाइ किं निवपालिनाचतलो रकां संभार्इत्यिवाष्टशिवीत्यसमानाइतिस्मतराध
 वप्रश्रावश्चयं मावपरा। तथा॥ अघतनिवविब्रुमा र्ने मूल तनरुं प्रियईवाउ पिडात्रुइयाइस
 इत्येइस्यासमानावनेमवषा। एममानाइतिचोस्या। पितृनाः। यतमर्षयराश्रव उलोततस्रीन्यिइ
 काः॥ इंदरागप्रविशिष्टकात्यायनः॥ पिउः। सपिंडो कृत्वा ऊर्षीत्मासाउमालकां अमं कृत्वा न

Folio 44 recto

left

संकाश्यात्रोपोत्रप्रयोत्रकोदितरं त्रसं ऊर्थादिति कात्यायनावधीशपापिष्टमपिष्टाहन
 उःसपिंडीकरणपितामह्यासहृदितोयथाज्ञानिकल्पनप्रविकारानवसुतः॥उधाना॥
 विभनतः॥पाणिग्रहणिकामैवापिष्टगात्रापहासकाः॥तल्लगात्रनारीणादयंपिष्टादकत
 पितामह्यासहिवतुः॥तस्यातिवउडीवह्यातस्याश्चाप्रतिशयः॥शातातयश्रुत्रयीपिता
 पिष्टलात्रतस्यात्रज्ञात्रजागिनी॥सापिंडीकरणहृदयस्थिस्यडीयातसविष्टसहशामास

middle

शुद्धपापहानापिवापितामहनपितरंसं ऊर्थादिति निश्चयः॥हृदशातातयः॥माउःसपिंडीकरणे
 पिंडःपितामहयहृदस्तेसेवआसुतेः॥माउमीतामहृदहृदधाकाधीसपिंडता॥हृदस्पतिः॥सि
 तः॥हाममत्रलवह्यासहृदयदिरित्यभनत्रामंशुष्टतपत्रीवह्यात्रातनसानवरा॥नदुहारीतः॥सिन
 ऊर्थाश्रीयोउपतिशयः॥सुनासुनिवमंत्रलसंश्रितायोनेलोदकांसंश्रितायोउनाथ्यासापिंडीक
 निशमिष्टनिश्चयः॥हारीतः॥ततघननिविप्रतपिष्टसामाश्रवाश्रुयाशविहलपिष्टलाकवततश्रीह

right

कर्षकार्येतिर्नदशपितामहासहिवस्यासपिंडीकरणस्मृतीः॥हृदगापविशिष्टकात्यायना
 नतत्रीसहृदमानाउक्कसुसमयश्रपितामहीवासुनिवनवेवप्रयितामही॥पिष्टस्यावसुनसुन
 तत्रीसहिवयासुपिंडीकरणश्रियाः॥पकलेसागतयस्यावुमेजाइतिवृतिः॥तस्मिनिप्रताःऊर्धुः
 रणात्रिकापिष्टकतल्लगावप्रधनप्रतिवेकः॥पकश्रुत्रत्वमायातिसपिंडीकरणहृदतापत्रीपति
 प्रवर्तता॥साश्रुसपिंडीकरणश्रुत्राहृदः॥शानातयः॥प्रदानेयवयवविषासपिंडीकरणहृदयः॥नव

left

४४
 वृणवभ्राह्मण्यमस्य दयाहता अर्वा संवशरा झाहो भूले संवशरा यिवा ॥ यम पिंडी कृता ॥ यतानत
 तेषु अक्षयिनि योऽन्याः यत्र विप्रसन्नतव ति पितृहाला यत्रा युत ॥ लघुहारीतः ॥ अपिंडी क
 र्णस्य म पिंडी करणारं द्वे विनिः सामाश्रमिद्यता अरम क्वत्र जो प्र वि विना पार्वणेन त्र प्र
 प्राह विना कः अताह पार्वणे कुर्वन ता कायातिमानवः ॥ संश्रुकेषा कलतावः ॥ प्रातश्च नतेना
 अयत्त पक्षे वा घदि ॥ अपिंडी करणारं द्वे नि स्या क्रः पार्वणं वि वि ॥ अयत्त संवः ॥ अशुभ्रा य म

middle

धातुप्रवक्रियाः ॥ नष्टमिदं सतं उतस्माद् द्वी विधीयता यम पिंडी कृते यतं यि स हि इति ॥ यान् यत्र
 रणेन प्रवक्राना पयश्च ॥ अश्रुत्त उरुत पश्चात् पुनः कायी म पिंडी गा जावाल ॥ पितृ यम त्ति वि
 यज्ञ मित्तन कर्ये स का हि प्रसता दशा ॥ मस्य पुराणे ॥ ततः प्रतृ निशकं ता ह्यपरागा दि प्रवसु ॥ विपिंडे व
 तव शत घा ॥ यिवत प्रवृत्त यो म पिंडी करणारं ॥ पार्वणेन विद्वानेन इय म श्रमता म ही ॥ रो र्वः
 नाक विप्रिद्यावा युक्तमश्रुता ॥ तेषा म पिच इयं स्यात्का हि इतं पार्वणा ॥ मित्रवैशु म पिंडे यः श्री

right

कृता र्था म्म हि संवत्राः म पिंडी करणे कृता ॥ यत्वा ॥ ब्रह्म निमीर्णा प्राप्ता पितृ गलत्रुता यः म पिंडी कृते ये
 र्थे मासिके आद्वे पव वां आहं यतित्र ला त्ति न्माता यिनाम्प वाहनि अम पिंडी कृते प्रतम का हि अ न
 च तद्वा हि म का हि इतं ता हति ॥ एको हि इतं पार्वणे यम मा च तत्र म दिव पितृ हा म स्यात्मा ह
 ॥ म पिंडी करणारं द्वे यत्र यत्र प्रसीयाता तत्र तत्र तय ऊ ची हर्दी र्थे वा मृता हति ॥ म मा वा र्था क्क यो य
 क्रमा र्थे य पवरा र्दद्या द्वि मासिके आद्वे मा व श्वर मला च्यत्रा ॥ प्रतता ॥ अयत्त म्म तस्य त अमा व

Folio 45 recto

left

स्याद्यंश्रवणादिवसवा॥लपुहरीतः॥आहविश्रेमपुत्रैश्चताहविदिताववा॥एकादश्यांउ
 चाविकदाचन॥ह्यमम्राहाधिकारः॥मरीचिः॥मृत(प तविषुवलाक्रियाकार्याविकततः॥
 ॥अतिमृष्टयताहितः॥गोतमः॥पुत्रानावसपिंडमात्मसपिंडाधिष्ठासुदद्युःतदनावस
 ॥विष्णुराणो॥शुभः॥पात्रः॥प्रणोवावातद्वरुद्धोतिसेततिः॥सपिंडसेततिवीपिक्रियाहा
 हाकोसत्यदनवीपतिः॥शुर्वक्रियामधमाश्चतथावेवात्रराक्रियाः॥त्रिःप्रकाराक्रियात्यते

middle

कर्तव्यं कर्म विनाशतः॥सशुभः॥रायपिल्लोशाहउम्राशोसंज्ञायतयदि।आहाल
 कंहवस्युयरायुवाप्युवाकभ्रनासिनः॥सविषोउमतेरुत्वासास्रनिवचुयकुतोइद्यतवावितके
 त्विवावाये॥हावः॥पिचः॥पुत्रणकर्त्रेद्यापिपुदानादकक्रियाः॥पुत्रानावउपत्रीस्यात्यव्या
 पदायतातघामनाविसर्वघोसमानादकसत्रतिः॥मातपकस्यपेउतसेवर्षीयाहालनवाक
 सासांनसमृष्टुघामासदाहाहायीयुवदिस्यर्थादद्यास्यताःक्रियाः॥ताःश्रीमधमामासिमास्यको

right

वद्यतीतिवेतर्षाशाहंपरीयाता।शुचीनेनदावद्यंयातिविप्रतिपघतासातिविष्णस्यकर्त्रेयानव
 नसेववक्रतेतवत्र॥वृहस्पतिः॥प्रमीतस्यपिचः॥उतिः॥आहदघषयन्नतः॥सातिवभुष्टरुश्रिष्ट
 नावेमहोदरः॥नायीपेडपतिईद्यात्ययेनार्थीतषेवचास्रप्रादिस्रभ्राविवतदमाविमुपेडकः
 लहयेपिलास्रनिष्ठीतिः॥कार्येवसंवातात्रगतिवीपिकार्याप्रेतस्ययाक्रियाः॥उसन्नवधकि
 हिष्टस्यसंज्ञितागपलपित्वमापनेसपिडीकरणद्वः॥क्रियात्रयाक्रियापेयात्वाच्यतताह

left

पोत्रराः॥पितृमातृसर्विडेभ्रममानसलिलेभ्रघा॥तस्मप्रातोद्गतोद्येवराज्ञवाविनहारिणा ।
 ऊर्ध्वानुहृणाममंत्रकातदभाववृष्टपतिःकारयस्वकुडुवराःश्रीणामाद्यवामवितदकादिष्ट
 पुतस्त्रायप्राहृयुजादद्यापिद्यापिमीनसिः॥यद्युजायामृतामाउपतिऊर्ध्वसुपिष्टतोऽं
 ३) तिद्विज्ञाः॥श्रीणामवउतद्यस्मान्मालधाहमिहोद्यताम्रघृष्टकातघामालधाहचिवमृताह
 ऊर्ध्वानुहृणामिहोद्यताम्रघृष्टकातघामालधाहचिवमृताह

middle

पूर्वक्रियासूक्तयापुत्रातेएवलोत्रराः॥दोहिविदीनराःप्रथकार्यामत्रनयेभ्रघा॥मृताहतिचकर्त्रेद्य
 मुदाहतरामायेडीकरतामापुत्रमात्रनविद्यात॥प्रतिभवंसंकार्यमकादिष्टनलेष्टियाः॥मृताह
 आदिनिश्राहिवीन्यासपिडीकरणनवेराः॥सुहागपरिदिष्टकात्यायनः॥नयादिज्ञाःपृथग्घादव
 निः॥एकादिष्टसदासुक्ताविष्णुनाशष्टमवेराः॥विष्णुः॥सवृष्टकासुदिवसर्वेशकंमोसासुपेः॥धादं
 ममात्मनेकृत्वाः॥द्विडेवयनिवपणप्रत्यकस्मिकेश्रुत्तऊर्ध्वारः॥कषत्रव्यप्रकृताः॥व्यष्टी

right

श्रीणामयुत्रराक्रियाः॥प्रतिभवंसंकाराज्ञानकादिष्टमयवलि॥॥मार्कंडेयपुराणा॥सर्वतावतघा
 नियघाश्रायचलायहृदि॥दोहिते॥॥नसुहारातः॥सुवलेवृक्तत्रेद्यसविडीकरणाः॥उकषष्ट
 मानदतामृतास्रनर्त्तयेडमावाच्यसुप्रिसामायतः॥मृताः॥दोहः॥पिजादित्रयपत्रीपुत्राद्यामातृपु
 कृत्वाः॥सवृष्टकासुष्टकावकृत्वाः॥कृत्वाः॥विवर्धमवमीविपितामह्यप्रपितामह्यवर्धवर्धडाह्यतो
 लाः॥उकषकषत्रयमात्रानावकनप्रत्ययश्रीकषमात्रनप्रयसादभमासनप्रयसाप्रत्यककष

left

४६
 आद्यदधिकप्रदक्षिणेषुपचारः पितृमववर्जोऽपः। अहोत्तरनीयवेसिलाः संपन्नमितिहप्र
 यतामिनिनश्चसंप्रयुज्जीतयुग्मानाशयशाआश्रलाघनयुह्यपरिशिष्टेअन्यदधिकयु
 पन्नमहिष्टकः। उद्यासुनादीशुतालोकाहितः। आहतिनादीशुत्वाः। पितरुदंसाद्योनादीशु
 जवावमाजीसेवनीपदीरप्रतिरघंवावयिरुक्ता। शयेषुपिंडदानमाप्तयागामत्यलाप
 द्विरितिश्चेदागयतिशिष्टेकात्यायनः।। कम्मादिपुत्रसर्वप्रमातरः। मगलाख्याः।। अहनी

middle

पुत्रः। रक्षवद्विराकृतमिश्राः। पिंडानादीशुत्वादिहप्रशावहयिष्ट्यहतिपुष्टितीनादीशुत्वाः। पितरः।
 ग्मावाहलाअमलादनीः। प्राश्रत्स्वस्यउदश्रुत्वेत्यावाप्राश्रत्वेद्द्वारनीपधिवसापयामानिवा
 ताः। पितरप्रियेतामित्यपीप्रतिश्राहणं। विसर्जनं। विसर्जनं। विसर्जनं। विसर्जनं। विसर्जनं।
 लियतपुत्राग्राकुमात्रासीयांलंक्यथदासुमिष्टउदनाहविः। सर्ववतस्यावनदहहआ
 यापयत्रप्रक्षिताः। अहयंतिताः। अतिमाशुचमवीसुनिखितावापयदिष्टुअपिवाकृतपंडु

right

धीवतामित्यक्यश्चाननादीशुत्वादिहप्रशावहयिष्ट्यहतिपुष्टितीनादीशुत्वाः। पितरः। पितामहाअधी
 काणिवत्वारिशान्नादवीत्युमेविनाशयवानावपतियत्वा। मिसामदेवत्या। मत्वादेवनिमित्तः।
 यानित्यमर्षीकरणं। आहाका। वलाहोमघातादेवाअवत्रन्दस्युप्रथहददं। विष्णुविष्णुमहेश्वर
 द्याहतीकुमारनादीशुत्वाः। पितरप्रियेतामितिविष्टुज्यदक्षिणमुपचारोयवेसिलाधुः। सर्वह
 लितेषुप्रथमिविष्णुं। अहयंतिताः। मप्रवारां। अतनउ। कारायपंचवारात्रानाविनीचानला

left

४७
 अथ यत्राद्यप्यवस्थापयति विरहिता विविधैः किंलाघवणात्प्रायः किंलानि सुखस्य च।
 व्यतिपादस्य च अकार्या इ कदा ननु अर्घ्यदानव दिष्टात्। अथैव निवृत्तकृत्या ननु उष्णीक
 ४७ अथ विविधाश्चोदयन्तीति वा। दिवती धेनवे विदं दद्यात्कालेन वा च पा। इत्यथ राणे। न
 स्त्रिंति मंत्रापराशया अस्त्रं धरन् सोऽदद्यात्कीर्त्तवानरुने। न त्वाना री सुखस्य भवितव्यम्।
 विद्याया विविधैः अर्घ्यं च धृष्ये च यथा मंत्रालपनां वा मध्याह्नने वस्त्रं। इष्टं

middle

किंलाघवेषु र्निष्पद्योद्यत्र विविधैः अथ यत्र निमार्त्तत्तदुच्यते इति मन्त्रिणि। शिवा आ पश्चि
 याचनां प्राथनाय प्रविष्टोक्तौ सर्वाश्चि वदिता नमः। पति ज्ञानहिता सिद्धिं तदत्रानपात्रकृत्युग्मा।
 इति मन्त्रं दद्यात्कालेन वा च पा। इत्यथ राणे। न स्त्रिंति मंत्रापराशया अस्त्रं धरन् सोऽदद्यात्कीर्त्तवानरुने।
 न त्वाना री सुखस्य भवितव्यम्। विद्याया विविधैः अर्घ्यं च धृष्ये च यथा मंत्रालपनां वा मध्याह्नने वस्त्रं। इष्टं

right

तिस्र्युग्मानात्प्रायः कनवा। सोमनश्च मन्त्रिणोऽप्युच्यते नमन्तं च। अर्कतं वा विष्टं वा स्त्रिंति मन्त्रकृता
 नववस्त्रिवाद्यं अथैव यथा हर्षे सदी। कृत्वा अर्घ्यस्य विषयं प्रणम्या उवाच नतः। विष्टं प्राणा। इष्टं कृतिः
 तन्मता लुह्ये प्रहर्षे च्चारं च्चमं पत्रं मत्तं च्च्युर्वि सिद्धं ततः। इति रातो दीशुत्वं यथा कृत्या म्दि म
 र्दमि मधुक्त्वं वदना नियमो म्मया। मिथी कृत्वा उच्यते विविधा श्रीफलमात्रात्प्रायः दद्यात्प्रायः च्च्यु
 अथ कृत्या दकस्तु। नदत्वा की रयात्वा दका प्रपिता म ह म विद्या न व हि म्म म्म यता अश्च

left

४८
 सप्तममहतिस्मरणात्तत्त्वार्थानि क्रियविश्रान्त्यपरावशात्परावाहनादिना प्रवृत्तियुद्धे वा
 म्यास्येद्विज्ञायत्राविश्रान्त्युद्धे तस्य प्रिययात्रे त्रिविधेषु च स्युः सकमया कथं कुलेद्वे
 मीलविकलघवारावस्था लिलाहस्य इति तत्रेति मस्मत्परादक्षिणा निशुत्वा वक्रिज्ञः
 पतवद्वा सुदमिष्वचरुतः किल तेषु लमिष्वरहितो कसप विजको च यकर्वकाश्वात्र मश्री
 माप कृतिदादका उकीया देवद्वित द्वायान् मो इति नमस्मरणा श्रीगान्धर्वज्जर्म सुवि

middle

स्वप्रवृत्तिसहंरुच्युत्तविश्रान्त्यास्त्वामहं व्रतः सत्येयस्त्वामहं विप्रानाश्रयामीति तावदश्रावाह
 वताद्विज्ञायत्राविश्रान्त्युद्धे तस्य प्रिययात्रे त्रिविधेषु च स्युः सकमया कथं कुलेद्वे
 लायत्रसुयोपवाद्याता कथोः आसीकृत्वा यतिरुतिरुदहरा कृत्वा श्मशानिकं हामे सुस्त्रीहृत्वा
 चरुतादकः तस्यात्र तला सुद्रेया गलित्री लिप्रवयरा उष्ट विचि नमश्च्यमितिल के निवेदयत्र
 क्रिवत्रस्य हातव्या नानिमात्रं तस्मात्प्रविष्टयमदिश्रुत्वाः सप्तम्यायमसाक्षात्प्रादद्या सप्तकुलो

right

नाशिकं हापुत्रया धपलकर्म वरसो म्पोत्तुं तला दद्यात्सवाय द्विज्ञायत्रा मात्मयं वाषतो द्वायया
 ईश्या तलागच्छद्यथा प्रासविद्वरा च पूर्वणविद्यत्या च्यनराहा विद्यापतलव दक्षिणे न तवाश्रुदोग
 मवहिनिर शिरघवात्तु मियमं उद्वेसं मारुत्वा प्रोवा निकेष्टानपघादाहाय त्यत्रतार प्रवायश्री
 उयमायुनमस्येति द्वितीयं नरेतरे उनमश्वास रसायश्मशानपतयतया तलादी प्रसमिद्या मित
 रुती ॥ उयमायुधर्म सजायशु स्यात्वात्र कायव । त्वेवै तायकानाय सर्वश्राणहराय वा सप्तकार

left

<p>१ शाहशशाशाहशशाशा ४ शाहकानाहा ८ शिव्यानि। १० शकुनि। ११ शिव्यायनीका। शंदिवाहना। १२ शकुनि।</p>	<p>२१ अनपिकविपरा। २२ शवासनदानादि। २३ शानकानि। २४ शमीकरना। २५ शिवप्रपादि। २६ शाहकवय। २७ शकुनिनाश।</p>	<p>३० शाहकवय। ३१ शिव्यायनीका। ३२ शिव्यायनीका। ३३ शिव्यायनीका। ३४ शिव्यायनीका। ३५ शिव्यायनीका। ३६ शिव्यायनीका। ३७ शिव्यायनीका। ३८ शिव्यायनीका। ३९ शिव्यायनीका। ४० शिव्यायनीका।</p>
---	--	---

middle

<p>४७ शाहकानाहा ४८ शिव्यायनीका। ४९ शिव्यायनीका। ५० शिव्यायनीका। ५१ शिव्यायनीका। ५२ शिव्यायनीका।</p>	<p>५३ शिव्यायनीका। ५४ शिव्यायनीका। ५५ शिव्यायनीका। ५६ शिव्यायनीका। ५७ शिव्यायनीका। ५८ शिव्यायनीका। ५९ शिव्यायनीका। ६० शिव्यायनीका।</p>	<p>६१ शिव्यायनीका। ६२ शिव्यायनीका। ६३ शिव्यायनीका। ६४ शिव्यायनीका। ६५ शिव्यायनीका। ६६ शिव्यायनीका। ६७ शिव्यायनीका। ६८ शिव्यायनीका। ६९ शिव्यायनीका। ७० शिव्यायनीका।</p>
--	---	---

right

७१ शिव्यायनीका।
 ७२ शिव्यायनीका।
 ७३ शिव्यायनीका।

Addenda : Folio 2 recto

left (infrared photography)

